

No.	園名	事例	年齢	月	健康な心と体								自立心				協同性				道徳性・規範意識の芽生え					社会生活との関わり						思考力の芽生え						自然との関わり・生命尊重				数量・図形・文字等への感心・感覚		言葉による伝え合い				豊かな感性と表現		
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	①	②	①	②	③	④	①	②	③						
31	神戸大学附属幼稚園	みんなで頑丈な秘密基地を作りたい	5歳	10月										●	○									●	○																									
32	神戸大学附属幼稚園	海賊船の旗を作ろう	5歳	10月																					●	○																			●	○				
33	神戸大学附属幼稚園	キャベツを青虫から守りたい	5歳	10月																						●	○																							
34	神戸大学附属幼稚園	馬跳びができるようになりたい！	5歳	10月	●	○	○							●	○			●	○																															
35	神戸大学附属幼稚園	ヒヤシンスの花の咲く早さが違うのはなぜ？	5歳	2月																				●	○																									
36	神戸大学附属幼稚園	劇の準備をしよう	5歳	2月																					●	○																		●	○					
37	神戸大学附属幼稚園	友達が困らない鬼ごっこのルールを見付けたい	5歳	3月																	●	○	○																				●	○						
38	神戸大学附属幼稚園	発表会の道具を解体してそりを作ろう	5歳	3月																					●	○																								

国	園名	事例	年齢	月	健康な心と体								自立心				協同性				道徳性・規範意識の芽生え					社会生活との関わり						思考力の芽生え						自然との関わり・生命尊重				数量・図形・文字等への感心・感覚		言葉による伝え合い				豊かな感性と表現		
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	①	②	①	②	③	④	①	②	③						
国28	大阪教育大学附属幼稚園	自分の行動を振り返る	5歳	9月																●	○	○																												
国29	兵庫教育大学附属幼稚園	僕が助けてあげよう	5歳	4月																	●	○	○																					●	○					
国31	奈良教育大学附属幼稚園	鬼ごっこのルールを考えよう	5歳	11月																	●		○	●																										
国32	奈良女子大学附属幼稚園	「病院」グループの役割を決めよう	5歳	10月																	●	○	●	○																										
国33	鳥取大学附属幼稚園	退職する先生に気持ちを伝える	5歳	10月																	●	○																							●	○				
国34	島根大学教育学部附属幼稚園	「カラ木ー積木」でいろいろ作れるよ	4歳 5歳	1月																																														
国35	岡山大学教育学部附属幼稚園	忍者になろう(忍者でござる)・ドングリを水に入れてみよう(ドングリ研究所)	3歳	5月																			●																								○			
国36	広島大学附属幼稚園	お客さんに来てほしいな	5歳	10月																																											●			
国37	広島大学附属三原幼稚園	「おおかみとフヒきのこやぎ」ごっこ	3歳	6月	●	○		○																																							●		○	
国38	山口大学教育学部附属幼稚園	お芋レストランをしよう	5歳	10月																			●	○																										
国39	鳴門教育大学附属幼稚園	プロペラの飛行機	5歳	9月																			●																							○				
国40	香川大学教育学部附属幼稚園	サッカーする中で友達の思いを感じながら、共に楽しみ、わかり合っていく	5歳	10月																			●	○																										
国41	愛媛大学教育学部附属幼稚園	一緒に店を開こう	5歳	6月																			●																							●	○			
国42	高知大学教育学部附属幼稚園	勝ちたい思いが強くて	5歳	9月																			●	○																										
国43	福岡教育大学附属幼稚園	黄金の滝で遊ぼう	5歳	5月																			●	○																										
国44	佐賀大学教育学部附属幼稚園	サラ粉でお料理	4歳	10月																			●																								●		○	
国45	長崎大学教育学部附属幼稚園	虫取り大作戦!	4歳	10月																			●																							○				
国46	熊本大学教育学部附属幼稚園	築山からソリが滑るように、橋をかけるぞ!	5歳	10月																			●																							○				
国47	大分大学教育学部附属幼稚園	ツクシパーティをしよう	5歳	3月																			●																							○				
国48	宮崎大学教育学部附属幼稚園	「段ボールで大きい家をつくろう」	4歳	6月																			●																							○				
国49	鹿児島大学教育学部附属幼稚園	たまごの正体は何かな?	3歳	6月																			●																						○					

園名	事例	年齢	月	健康な心と体								自立心				協同性				道徳性・規範意識の芽生え					社会生活との関わり						思考力の芽生え						自然との関わり・生命尊重				数量・図形・文字等への感性・感覚		言葉による伝え合い				豊かな感性と表現																													
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	①	②	①	②	③	④	①	②	③																																	
公1	川西市立川西北幼稚園	秘密基地のドアをつくろう！	5歳	10月									●	○		○													●	○																																														
公2	川西市立東谷幼稚園	電車ごっこを皆で楽しもう	4歳	6月																																																																								
		ボールを転がすコースを作ろう	5歳	6月												●			○										●																																															
公3	赤穂市立坂越幼稚園	おばけ屋敷の看板を作ろう	5歳	10月																																																																								
		アイスクリーム屋の看板を取りつけよう	5歳	10月												●			○										●																																															
公4	神戸市立神戸幼稚園	流しそうめんしよう	5歳	8月																										●																																														
		赤鼻のトナカイになりたい！	5歳	12月																										●																																														
公5	神戸市立たるみ幼稚園	1番になりたい	5歳	9月										●			○		○		○							●																																																
公6	明石市立播陽幼稚園	勝つための作戦を考えよう	5歳	6月																																																																								
公7	明石市立明石幼稚園	綱引きで負ける悔しい気持ちに折り合いをつける	5歳	9月										●			○			○		○																																																						
公8	明石市立松が丘幼稚園	松ぼっくりの種を集めて遊ぼう	4歳	10月																									●																																															
		5歳	鬼ごっこ 10秒ルールどちらが数える？		5歳																									●	○																																													
公9	明石市立朝霧幼稚園	どんぐりホッケーテーブルの脚づくり	5歳	10月																									●	○																																														
		5歳	Aさんの田んぼに行こう	5歳																									●	○																																														
公10	明石市立林幼稚園	Aさんの田んぼに行こう	5歳	6月																						●	○																																																	
公11	明石市立花園幼稚園	楽しいおばけやしきが作りたい	5歳	11月																									●																																															
公12	明石市立貴崎幼稚園	射的やさんの準備をしよう	5歳	11月																									●																																															
公13	明石市立大久保南幼稚園	しっぽ取りのルールを考えよう	5歳	9月																									●																																															
公14	明石市立高丘東幼稚園	V字に組み合わせた樋に水を流してペットボトルロケットを飛ばそう	5歳	6月										●			○											●	○																																															
公15	明石市立高丘西幼稚園	ひっくり返しゲームのルール作り	4歳	6月																							●	○																																																
公16	明石市立谷八木幼稚園	竹馬のれたよ	5歳	10月	●	○	○																																																																					
公17	明石市立清水幼稚園	しっぽとりをしよう	4歳	11月																									●																																															
公18	明石市立錦が丘幼稚園	運動会を描こう	5歳	10月																									●																																															
公19	明石市立錦浦幼稚園	自分で台詞が言えたよ！	5歳	10月																									●																																															
公20	明石市立二見北幼稚園	しっぽの数を比べよう	5歳	7月																									●	○																																														
公21	明石市立二見西幼稚園	ダンボールで迷路を作ろう	5歳	11月																									●																																															
公22	三木市立三樹幼稚園	わくわくあそび(ドッジボール)	5歳	11月																									●	○																																														
公23	三木市立三木幼稚園	合同遊び 棒引き	4歳	10月																																																																								
		5歳	綱引き対決！		5歳																									●	○																																													
公24	三木市立別所認定こども園	綱引き対決！	5歳	9月																									●	○																																														
公25	三木市立緑が丘幼稚園	のびのび遊び(帽子とりごっこ)	5歳	9月																									●	○																																														

2 幼児期に育みたい資質・能力の発揮，伸長を支える指導方法

各事例の考察から抽出した効果的な指導方法を，学年毎に整理して示す。空欄については，この度収集した事例に，該当する学年の事例がなかったか，本研究で分析に活用した事例の考察部分からは効果的な指導方法が見い出せなかったところである。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の項目毎に指導方法を集積し整理して示しているが，分析方法で記述したとおり異なる複数の項目に同じ指導方法がある。これは，実際の事例においては，子供の事実や事実からとらえた学びを，はっきりと項目毎に分類することが難しかったものがあるためである。子供の事実や事実からとらえた学びがはっきりと項目毎に分けられず，複数の項目でどちらの項目にも当てはまるととらえられることが少なからずあった。そのため，環境の構成や教師の援助の方向もはっきりと項目毎に分類し難いものがあった。

そもそも，10項目46の具体的な姿は重なりが存在するものであり，本分析結果は当然のことととらえている。よって，項目毎に効果的な指導方法を集積し整理する中で，特徴的な指導方法が読み取れるのか心配もあった。しかしながら，結果整理したものをを見る時に，環境の構成や教師の援助は，項目によって明確に異なるものではないとの前提に立って見ても，各項目での特徴的な指導方法が見て取れた。

環境の構成や教師の援助は項目によって分断されるものではなく，事例の中では複数の項目にまたがって複雑に絡まりながら総合的に指導されている。事例の事実や解釈にまで戻ってみると，考察には記述されていないが重要であると考えられる環境の構成や指導方法も読み取れる。各事例には，分析により整理される前のものが記述されているため，当然のことながら，ここで整理した環境の構成や教師の援助よりも具体的で子供の活動に即した形で記述されている。

具体的な事例こそ，各地での実践の参考にしていただけたらと考える。しかしながら，本冊子に掲載できる事例は，紙面の都合上，一部に限られる。そこで，本研究の基になっている事例はすべてデータで添付することにした。

本章で10項目46の具体的な姿の各項目の環境の構成や教師の援助の特徴的な傾向を掘んだ上で，一覧表を参考に，是非，それぞれの事例に目を通していただきたい。

1) 健康な心と体

「健康な心と体」に関する考察が含まれる事例の一覧は次のとおりである。

番号	園名	事例名	年齢	月	健康な心と体									
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
1	神戸大学附属幼稚園	ブラフォーミングを2つ運びたいな	3歳	4月	○									
2	神戸大学附属幼稚園	お友達がいるからお母さんと離れてみようかな	3歳	5月	○									
8	神戸大学附属幼稚園	行くよ、ジャンプ!	3歳	10月		○	○				○			
11	神戸大学附属幼稚園	乗り物をつなげて遊ぼう	3歳	1月			○							
13	神戸大学附属幼稚園	警察官になって泥棒を捕まえよう	4歳	6月		○	○							
14	神戸大学附属幼稚園	泥に入って遊ぼう	4歳	6月			○						○	
19	神戸大学附属幼稚園	板の上、歩けるかな?	4歳	10月			○							
24	神戸大学附属幼稚園	友達と戦いショーをして、お客さんに観てもらいたい	5歳	6月									○	
34	神戸大学附属幼稚園	馬跳びができるようになりたい!	5歳	10月		○	○							
国1	北海道教育大学附属旭川幼稚園	忍者になって修行をしよう	4歳	5月	○								○	
国2	北海道教育大学附属函館幼稚園	口の中をきれいにしよう	5歳	7月								○		
国3	弘前大学教育学部附属幼稚園	秘密基地を作ろう	5歳	2月		○								
国4	岩手大学教育学部附属幼稚園	海賊船ごっこから、海賊鬼ごっこへ	5歳	10月	○		○							
国5	宮城教育大学附属幼稚園	冬に向かって～寒さに負けない元気な子～	5歳	11月										○
国6	秋田大学教育文化学部附属幼稚園	次こっちだよ。はいどうぞ。	5歳	2月										○
国7	山形大学附属幼稚園	「おにぎりの日」を楽しく味わおう	4, 5歳	10月					○					
国8	福島大学附属幼稚園	鉄棒ができるようになりたい	5歳	11月	○	○	○							
国12	埼玉大学教育学部附属幼稚園	カリン取りをしよう	4歳	6月									○	
国13	千葉大学教育学部附属幼稚園	「負けてもいいんだよ」(リレー)	5歳	9月			○							
国15	お茶の水女子大学附属幼稚園	繰り返し出かけた場所での自然の変化を感じて楽しむ Yの姿を中心に	3歳	4月	○									
国37	広島大学附属三原幼稚園	「おおかみと7ひきのこやぎ」ごっこ	3歳	6月	○		○							
公16	明石市立谷八木幼稚園	竹馬のれたよ	5歳	10月	○	○								

「健康な心と体」の「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」は次のとおりである。

幼稚園生活の中で充実感や満足感を持って自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせながら取り組み、見通しを持って自ら健康で安全な生活を作り出していけるようになる。

「健康な心と体」においては、さらに8つの具体的な姿が示されている。以下、具体的な姿毎に本研究の事例より抽出した効果的な指導方法を学年毎に記す。

① 安定感や解放感を持ちつつ、心と体を十分に働かせながら充実感や満足感を持って環境に関わり行動するようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児 ・ やってみようと思えるように、遊び出しの状況を作っておく。
 ・ 母親から離れようと思えるように、目線を下げたり、手を差し出したりして話を聞いたり、自分が受け入れてもらっていることや、一緒にいて心地いい友達がいることを感じられるように、教師が誘ったり、友達が遊んでいる様子を伝えたりする。

4歳児 ・

5歳児 ・

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児 ・ 心と体が動き出せるように、入園当初の不安を受け止めながら興味を示すことを一緒に探す。
 ・ 思い切り駆け回る楽しさを感じられるように、逃げたり追いかけたりする。

4歳児 ・ 身体を存分に動かせるように、忍者になって遊ぶ動きをして見せる。

5歳児 ・ 多様な動きが経験できるように、遊びのルールを提案する。
 ・ 鬼ごっこの面白さを感じられるように、仲間の一人として一緒に遊ぼう。
 ・ 挑戦する機会が増えるように、いつでも手軽に取り組める室内用鉄棒を設置する。
 ・ できるようになりたいという気持ちが高まるように、他児が取り組む姿を目にする状況を作る。
 ・ 安心して挑戦できるように、落ちないように補助をする。

②

全身を使って活動することを繰り返す中で、体を動かす様々な活動に目標を持って立ち向かったり、困難にたずみながらも気持ちを切り替えて自分なりに乗り越えようとしたりして根気強くやり抜くことで活動意欲を満足させ、自ら体を動かすようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・やってみようという気持ちを支えられるように、やってみようと思ったときに、その気持や能力に応じて、手を添えたり見守ったりする。そして、頑張った満足感が味わえるように、挑戦したことをほめる。
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・鬼ごっこで捕まえたいという思いを強くもてるように、また、その思いをもち続けられるように、挑発する言葉をかけたり、捕まえられそうだったことを言葉にしたりして雰囲気盛り上げる。 ・諦めずに追いかけて続けた頑張り意識できるように、その姿勢を言葉にしてほめる。 ・動きのよさを感じられるように、教師が捕まった悔しさや動きのよさを言葉にする ・もう少しで捕まえられそうな手応えを感じながら取り組めるように、捕まえられはしないがあと一歩という惜しい状況を作る ・捕まえた喜びを感じられるように、悔しがりながら、振り返るようによさや頑張り、具体的な言葉にして伝える。
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・諦めずに挑戦しようと思えるように、練習に付き合い、応援したり、コツや感覚を感じられるよう補助をしたり、安心できるよう傍にいたりする ・何度も練習し、難しかったことができるようになったと満足感を味わえるように、できたことをほめたり何度も練習して頑張ってきたことを伝えたりする ・練習に付き合ってくれる友達のよさを感じられるように、練習に付き合っていることや練習に付き合ってくれた友達のおかげでもあることを伝える。

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児	・
4歳児	・
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・雪遊びが広がるように、子供の考えを受け止め、園庭側での活動を促す。 ・目的を達成できるように、じっくり取り組む時間を保障し、もうこれ以上できないと思うまでとことんできるように近くで見守る。 ・挑戦する機会が増えるように、いつでも手軽に取り組める室内用鉄棒を設置する。 ・できるようになりたいという気持ちが高まるように、他児が取り組む姿を目にする状況を作る。 ・諦めずに自分の課題と向き合えるように、励ましたり認めたりする。

③

適切な活動を選び、体を動かす気持ちよさや自ら体を動かそうとする意欲を持ち、いろいろな場面に応じて体の諸部位を十分に動かし進んで運動するようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・やってみたい気持ちや様々な動きが誘発されるように、遊具の高さや長さを変えて凸凹に遊具を配置したり、色の違うフープなど、距離の目標を決められるものを並べて置いたりする。 ・安心して取り組めるように安全を見守り、一人一人の必要に応じて手を添えたりほめたりする。 ・やってみたいと思っていつでも遊びに入って取り組めるように、遊んでいる姿が他児から見える場所に、導線の分かりやすさに配慮し、様々な形に遊具を組み合わせて置いておく。 ・したいという気持ちをもって繰り返し挑戦しようと思えるように、傍らで見守ったり励ましたりする。
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な調整しながら身体を動かせるように、教師自らが様々な動きをして逃げる。また、子供がその動きのよさを意識できるように、具体的に言葉にしてほめる。 ・泥に入り、その中でからだを動かす状況を作れるように、誘ったり友達の様子を見せたり、友達の感想を聞いたりして、興味をもたせたりきっかけを作ったりする。 ・様々な動きや感覚を経験できるように、教師が興味を持って取り組む姿を見せる。
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・できるようになりたいという気持ちを持ち続け、繰り返し取り組むことで、身体の動かし方や感覚をつかめるように、必要に応じて繰り返し補助をしながら、応援したり、練習に付き合ったりする。

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児	・思い切り駆け回る楽しさを感じられるように、逃げたり追いかけたりする。
4歳児	・
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・挑戦する機会が増えるように、いつでも手軽に取り組める室内用鉄棒を設置する。 ・できるようになりたいという気持ちが高まるように、他児が取り組む姿を目にする状況を作る。

④ 様々な機会を通して食べ物への興味や関心を持ち、皆で食べると美味しく、楽しいという経験を積み重ね、和やかな雰囲気の中で話し合ったり打ち解けたりして親しく進んで食べるようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児 ・
- 4歳児 ・
- 5歳児 ・

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児 ・
- 4歳児 ・ 家族の協力を感じたり、食生活に自分から働きかけたり、生活の中での食の大切さに気付いたりする機会になるように、身近な食に自分から関わる「おにぎりの日」「収穫した野菜で味噌汁づくり」を設定する。
- 5歳児 ・ 家族の協力を感じたり、食生活に自分から働きかけたり、生活の中での食の大切さに気付いたりする機会になるように、身近な食に自分から関わる「おにぎりの日」「収穫した野菜で味噌汁づくり」を設定する。

⑤ 健康な生活に関わりの深い人々に接したり、社会の情報を取り入れたりなどして、自分の健康に対する関心を高め、体を大切に活動を進んで行き、健康な生活リズムを身に付けるようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児 ・
- 4歳児 ・
- 5歳児 ・

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児 ・
- 4歳児 ・
- 5歳児 ・ 自分の健康に対する関心が高まるように、口の中のウィルスの動画映像を見せる。また、しっかりと歯磨きをしていても磨き残しがあることを確認することができるように、子供自身がばい菌の怖さを感じた時のタイミングをとらえて、歯垢染色液を使って着色する。また、しっかりと汚れを落とそうとする磨き方ができるように、鏡を見ながら、歯磨きができる状況を作る。

⑥ 遊びや生活を通して安全についての構えを身に付け、危険な場所、危険な遊び方、災害時などの緊急時の適切な行動の仕方が分かり、安全に気を配り状況に応じて安全な行動がとれるようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児 ・ 安全な遊び方を選べるように、危険な状況になることを予測したり、安全を確保しつつ実際に試して危険な状況になることを体験したりし、安全に遊ぶための置き方を子供と一緒に考えたりする。
- 4歳児 ・
- 5歳児 ・ お互いの距離を考えて動いていることを自覚できるように、考えていることを言葉にする。

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児 ・
- 4歳児 ・ 必然的に自ら注意を払いながら新しいことに挑戦し、友達同士で注意を呼びかけたり、励まし合ったりしながら達成に向かえるように、否が心でもリスクを察知して行動を自分で制御したり、戸惑いを感じながらも一定のルールを意識しながら取り組むことで達成感を味わえたりするような活動に導く。
- 5歳児 ・ 安全に積めるように、繰り返し安全な積み方を伝える。

⑦ 衣服の着脱，食事，排泄などの生活に必要な活動の必要性が分かり，自分の力で行うために思い巡らしたり判断しようとしたり工夫したりなどして意欲や自信を持って自分でするようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児

・

4歳児

・汚れないようにするために脱いでおく必要性が感じられるように，これは服が汚れそうだ，汚したくないという思いを抱いて考えることを大切に，子供が必要を感じるまで待ち，必要を感じたタイミングで気持ちを受け止めどうすればよいか言葉にする。

5歳児

・

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児

・

4歳児

・

5歳児

・上着を脱いだ方がよいか判断できるように，上着を脱ぐ理由を作業のしやすさだけでなく太陽を浴びることが健康によいことを話す。

⑧ 幼稚園における生活の仕方を身に付け，集団での生活や場の使い方などの状況を予測して準備し片付けたりなどして，自分たちの生活に必要な行動に見通しを持って自立的に取り組むようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児

・

4歳児

・

5歳児

・

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児

・

4歳児

・

5歳児

・危険の予測ができるように，遊戯室で大型積み木を使って遊ぶ経験を積み重ねる。
・遊び方をルール化できるように，自分の思いを出し合って集団で遊ぶ。

2) 自立心

「自立心」に関する考察が含まれる事例の一覧は次のとおりである。

番号	園名	事例名	年齢	月	自立心			
					①	②	③	④
1	神戸大学附属幼稚園	ブラフォーミングを2つ運びたいな	3歳	4月			○	
2	神戸大学附属幼稚園	お友達がいるからお母さんと離れてみようかな	3歳	5月				○
3	神戸大学附属幼稚園	三輪車 空いてるよ!	3歳	5月		○		○
4	神戸大学附属幼稚園	どこに隠れているのかな?	3歳	5月			○	
6	神戸大学附属幼稚園	みどりのジュース、入れてほしい	3歳	7月		○		
7	神戸大学附属幼稚園	お医者さんになって病気を治したいな	3歳	10月				○
9	神戸大学附属幼稚園	バーベキューごっこしよう	3歳	11月		○		
10	神戸大学附属幼稚園	時計を作りたい	3歳	11月		○		
11	神戸大学附属幼稚園	乗り物をつなげて遊ぼう	3歳	1月			○	
12	神戸大学附属幼稚園	サワガニ持てるかな	3歳	3月		○		
13	神戸大学附属幼稚園	警察官になって泥棒を捕まえよう	4歳	6月		○	○	
14	神戸大学附属幼稚園	泥に入って遊ぼう	4歳	6月		○		
15	神戸大学附属幼稚園	樋をつなげて水を流そう	4歳	6月			○	
16	神戸大学附属幼稚園	家貸してって言って欲しい	4歳	6月		○		
18	神戸大学附属幼稚園	秘密基地に看板を作ろう	4歳	10月			○	
19	神戸大学附属幼稚園	板の上、歩けるかな?	4歳	10月			○	
22	神戸大学附属幼稚園	“す”から始まるものは?	4歳	3月		○		
23	神戸大学附属幼稚園	泥団子が作れたよ	5歳	5月			○	
27	神戸大学附属幼稚園	スズムシの居心地を良くしてあげたい	5歳	6月				○
30	神戸大学附属幼稚園	ザリガニを釣りたい	5歳	7月		○	○	
31	神戸大学附属幼稚園	みんなで頑丈な秘密基地を作りたい	5歳	10月			○	
34	神戸大学附属幼稚園	馬跳びができるようになりたい!	5歳	10月		○		
国1	北海道教育大学附属旭川幼稚園	忍者になって修行をしよう	4歳	5月		○		
国2	北海道教育大学附属函館幼稚園	口の中をきれいにしよう	5歳	7月	○			
国4	岩手大学教育学部附属幼稚園	海賊船ごっこから、海賊鬼ごっこへ	5歳	10月	○			
国5	宮城教育大学附属幼稚園	冬に向かって ~寒さに負けない元気な子~	5歳	11月	○			
国7	山形大学附属幼稚園	「おにぎりの日」を楽しく味わおう	4, 5歳	10月	○			
国11	群馬大学教育学部附属幼稚園	チャアリーディング	5歳	9月				○
国12	埼玉大学教育学部附属幼稚園	カリン取りをしよう	4歳	6月			○	
国13	千葉大学教育学部附属幼稚園	「負けてもいいんだよ」(リレー)	5歳	9月		○		
国14	東京学芸大学附属幼稚園	どうやってリレーを走る?	5歳	9月	○			
国14	東京学芸大学附属幼稚園竹早園舎	ルビ-ちゃん(モルモット)のお世話はみんなでしたい	5歳	11月	○			
国27	京都教育大学附属幼稚園	運転席に乗りたい!	4歳	6月		○		
国32	奈良女子大学附属幼稚園	「病院」グループの役割を決めよう	5歳	10月	○			
国33	鳥取大学附属幼稚園	退職する先生に気持ちを伝える	5歳	10月		○		
国45	長崎大学教育学部附属幼稚園	虫取り大作戦!	4歳	10月			○	
国46	熊本大学教育学部附属幼稚園	築山からソリが滑るように、橋をかけるぞ!	5歳	10月			○	
公1	川西市立川西北幼稚園	秘密基地のドアをつくろう!	5歳	10月	○			○
公3	赤穂市立坂越幼稚園	アイスクリーム屋の看板を取りつけよう	5歳	10月			○	
公5	神戸市立たるみ幼稚園	1番になりたい	5歳	9月			○	
公7	明石市立明石幼稚園	綱引きで負ける悔しい気持ちに折り合いをつける	5歳	9月				○
公14	明石市立高丘東幼稚園	V字に組み合わせた罐に水を流してペットボトルロケットを飛ばそう	5歳	6月			○	
公16	明石市立谷八木幼稚園	竹馬のれたよ	5歳	10月	○			
公18	明石市立錦が丘幼稚園	運動会を描こう	5歳	10月		○		
公19	明石市立錦浦幼稚園	自分で台詞が言えたよ!	5歳	10月	○			
公22	三木市立三樹幼稚園	わくわくあそび(ドッジボール)	5歳	11月	○			

「自立心」の「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」は次のとおりである。

身近な環境に主体的に関わりいろいろな活動や遊びを生み出す中で、自分の力で行うために思い巡らしなどして、自分でしなければならないことを自覚して行い、諦めずにやり遂げることで満足感や達成感を味わいながら、自信を持って行動するようになる。

「自立心」においては、さらに4つの具体的な姿が示されている。以下、具体的な姿毎に本研究の事例より抽出した効果的な指導方法を学年毎に記す。

① 先生や友達と共に生活をつくり出す喜びを見出し、自分の力で行うために思い巡らしなどして自分でしなければならないことを自覚して行うようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児 ・
- 4歳児 ・
- 5歳児 ・

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児 ・
- 4歳児 ・
- 5歳児
 - ・自分から思いを伝えたり、自分の行動は自分で考えて決めようとしたりするように、子供の言葉を受け止め共感する。
 - ・自分で決めている満足感と学級の仲間とともに活動できる喜びを感じられるように、意思を表せるように問いかけることを繰り返し、学級の子供達にも意図が伝わるようにする。
 - ・自分のすべきことを考えたり向き合っており組んだりするように、学級全体の話し合いとグループの話し合いを織り交ぜながら重ねる。
 - ・学級の仲間と共有して、学級全体で考え決めていくように、子供達の中で気付いたこと（困ったこと）をきっかけにして話し合う。
 - ・練習を積み重ねることが必要であると自覚できるように、挑戦した時のことを取り上げたり、友達が繰り返し取り組んでいる姿を見る状況を作ったりする。
 - ・使命感を持ち、集中して意欲が高まるように、目的を明確にする。
 - ・自分でできたという自信がもてるように、他児には簡単に助けないで、できるまで様子を見守るよう伝えておく。
 - ・自分の考えを思いめぐらしながら行動できるように、待つ。

② 自己を発揮し活動を楽しむ中で先生や友達に認められる体験を重ねることを通して、自分のことは自分で考えて行い、自分でできないことは実現できるように工夫したり、先生や友達の助けを借りたりしてくじけずに自分でやり抜くようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児
 - ・それぞれの子供が気持ちを素直に出せるように、一人一人の気持ちを受け止めたり、それぞれの思いが叶うための選択肢を示したりする。
 - ・自分の気持ちを友達に言葉で伝えられるように、具体的に何が欲しいと思っているか確かめ、どんな言葉で欲しい気持ちを伝えたらいいか具体的に言って聞かせたり、簡単な言葉でゆっくりと気持ちを伝える姿を見せたり、どうしたらいいかイメージがもてている時には、思っていることを言葉にし、自分で言いに行ってみようと思えるように背中を押ししたりする。
 - ・手伝ってもらいながらも自分でできたと思えるように、また、いいものができたと満足できるように、個々の様子に合わせて、不安に思っているところは励ましたり、手を添えて一緒にしたり、手伝ったりする。
 - ・不安を取り除き、安心して生き物に触れてみようと思えるように、痛くないことや持つコツを伝えたり、して見せたり、友達が持つ様子を一緒に見たり、実際に持った友達の怖くなかった気持ちを聞かせたりする。
 - ・生き物の動きに驚いても、また持ってみようと思えるように励ます
 - ・怖さを乗り越えて諦めずに挑戦して持つことができた実感できるように、その子供がしたことを振り返って言葉にしてほめる。
- 4歳児
 - ・鬼ごっこで捕まえたいという思いを強くもてるように、また、その思いをもち続けられるように、挑発する言葉をかけたり、捕まえられそうだったことを言葉にしたりして雰囲気盛り上げる。
 - ・諦めずに追いかけて続けた頑張りを意識できるように、その姿勢を言葉にしてほめる。
 - ・やってみたいと思えるように、誘ったり、様子を見ている子供には、友達の様子を見せたり、友達の感想を聞かせたり、心配していることがある時には、その心配を取り除けるように解決策を提案したりする。
 - ・自分の思いを自分の言葉で伝えられるように、言いに行くことを提案し、傍について行く。
 - ・満足感を感じられるように、自分でできたと思っている気持ちに共感する。
 - ・どうしたいのかを自分で決めて言えるように選択肢を与えたり、周りの友達と一緒に言えるまで待ったりする。
- 5歳児
 - ・繰り返し挑戦しようと思えるように、悔しかった気持ちに共感したり、励ましたり、頑張りをほめたりする。

	<ul style="list-style-type: none"> 諦めずに挑戦しようと思えるように、練習に付き合い、応援したり、コツや感覚を感じられるよう補助をしたり、安心できるような傍にいたりする 何度も練習し、難しかったことができるようになったと満足感を味わえるように、できたことをほめたり何度も練習して頑張ってきたことを伝えたりする 練習に付き合ってくれる友達のをよさを感じられるように、練習に付き合ってくれていることや練習に付き合ってくれた友達のおかげでもあることを伝える。
--	--

学年	研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	・
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> 自ら挑戦できるように、友達が楽しそうに新しい活動に挑戦しようとしている姿勢を感じさせる。 粘り強く取り組んだり、方法を自分なりに考えたりするように、困った気持ちを受け止め、見守る。
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> 負けても最後まで走りぬげるように、勝ったり負けたりしたその時々の思いを共感したり、話し合いの結果を生かして走り方を工夫しながら頑張ったことを認めたり、負けても頑張る友達の様子や、頑張っている友達の姿を見られる状況を作ったりする。 友達の発言を聞きながら自分の言葉で伝えられるように、表情を見て無理強いをせず、少し時間をおく。 自分でしようと思えるように、子供の思いを読み取り、発言したいという気持ちになるまで待ったり、子供が発言できたことを認めたり、周囲の子供達にもそのことを伝えたりする。

③ 自分から環境に関わりいろいろな活動や遊びを生み出す中で、難しいことでも自分なりに考えたり工夫したりして、諦めず自分の力で解決しやり遂げ、満足感や達成感を味わい自らの生活を確立するようになる。

学年	神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	<ul style="list-style-type: none"> したいと思っていることができるように、モデルとなり、教師のやり方を見せる。 やってみようと思えるように、遊び出しの状況を作っておく。 かくれんぼでうまく隠られたことに満足できるように、子供達と一緒に探してまわったり、見付からずに降参したりする。 したいと思っていることが願いのとおりになっていない具体的な問題に気づき、それを解決するにはどうすればよいかを考えられるように、これまでの経験を思い出してしたいと思っていることとの違いを意識して確かめられるよう尋ねる。
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> 動きのよさを感じられるように、教師が捕まった悔しさや動きのよさを言葉にする。 もう少しで捕まえられそうな手応えを感じながら取り組めるように、捕まえられはしないがあと一歩という惜しい状況を作る。 捕まえた喜びを感じられるように、悔しがりながら、振り返るようによさや頑張りや、具体的な言葉にして伝える。 目的をもち、試行錯誤してできた嬉しさを味わえるように、思うようにできていないことを言葉にして取り上げたり、道具を扱うコツを意識させたり、よく考えてしたことを褒めたりする。 考えたことを最後まで諦めずに取り組めるように、したいことがあっても子供の力では考えきれないでいる姿を見取ってから、作りたいものを具体的にイメージできるようにどんなものが作りたいのかを尋ねたり、具体的に作った作りたいものに必要な材料や方法を考えられるように例を挙げて選択肢を示したりする。 こだわって作ろうと思えるように、こだわって作っているところを受け止め、そしてそのすごさを言葉で伝えたり、驚いたりなどして感心する。 自分でしたいことを見つけてできるように、教師も一緒に考えたり、遊んでいる姿を見せることでヒントを示したりする。 試行錯誤してしたいことを実現できるように、解決したい問題がなぜ起こっているのかを問いかける。
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> やってみようと思えるように、教師や友達がしていることを見せたり、感じていることを聞かせたりしてきっかけをつくる。 取り組んできたことによる変化に喜びを感じ、続けてやってみようと思えるように、これまで取り組んできたことと結び付けて話し、意識させる。 したいことをやり遂げる満足感を味わえるように、考えたり試したりしてあきらめずに取り組むことで、少しずつ上達・進歩していることを実感し、小さな満足感を感じながら取り組めるよう、少しずつ上達していることや進歩していることをほめたり一緒に喜んだりする。 得られた情報から、したいと考えたことを自分達で進められるように、気持ちを受け止める。 予想して考えたことを試し、その結果を確かめて満足できるように、考えたことや考えたことを実際にした方法がよかったことを振り返って一緒に喜び。

学年	研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	・
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> 子供達の知恵が生まれ、それが結集されていくように、少し努力すれば登れる高さの木や扱い易い道具を用意する。 満足感や達成感を味わうことができるように、高く評価し、周りの子供達に知らせる。

5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と考えを出し合いながらつくりあげ、達成感や成功感を味わえるように、じっくりと取り組める場や時間を確保する。 ・諦めずに取り組めるように、一緒に遊んだり悩んだりする仲間としてその場にいる。 ・自分で目的を達成できたという自信を深められるように、看板設置ができたことや以前との違いを問う。 ・勝敗に対する意識が高まるように、繰り返し取り組む状況を作る。 ・考え試すべき視点に気付けるように、友達の行動の意味を言葉で伝えられるよう引き出す。 ・同じ遊びをしている一体感を高められるように、教師が率先してカウントダウンして飛ばす。 ・継続する意欲をもちなおせるように、幼児の思いに共感する。 ・もっと考えてみようと思えるように、どうしたらよいか問いかける。
-----	--

④ 家族、友達、先生、地域の人々などと親しみ合い、幼児なりに支え合う経験を積み重ね、自分の感情や意志を表現し共感し合いながら、自分のよさや特徴に気づき自信を持って行動するようになる。

学年	神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・誘われる嬉しさや一緒にいる心地よさを感じられるように、気になっている友達の居場所を知らせてかわりをもつきっかけをつくる。 ・考えたことが叶うように、安心できる教師が傍にいたり、気持ちを代弁したりする。 ・自分たちのごっこ遊びの場所に友達がたくさん来てくれた嬉しさを感じられるように、教師が相手役になりきってやりとりをし、ごっこ遊びの雰囲気盛り上げる。
4歳児	・
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と共通の思いをもって取り組む中で、目的に向かって取り組み、考えたことが実現していく喜びを実感できるように、考えたり試したりする姿を見守り、考えの良さを言葉にしたり、実現していく過程を共に喜んだりする。

学年	研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	・
4歳児	・
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のことを考えながらも、自分たちのしたいことを実現できるように、他者の思いに寄り添う、自分の思いを十分発揮することを大切にする。 ・自分の存在意義を確かなものにできるように、家庭を巻き込み、一緒に作戦を考える機会を設定する。

3) 協同性

「協同性」に関する考察が含まれる事例の一覧は次のとおりである。

番号	園名	事例名	年齢	月	協同性			
					①	②	③	④
2	神戸大学附属幼稚園	お友達がいるからお母さんと離れてみようかな	3歳	5月			○	
3	神戸大学附属幼稚園	三輪車 空いてるよ!	3歳	5月	○	○		
4	神戸大学附属幼稚園	どこに隠れているのかな?	3歳	5月			○	○
7	神戸大学附属幼稚園	お医者さんになって病気を治したいな	3歳	10月			○	
9	神戸大学附属幼稚園	バーベキューごっこしよう	3歳	11月			○	
14	神戸大学附属幼稚園	泥に入って遊ぼう	4歳	6月			○	
15	神戸大学附属幼稚園	樋をつなげて水を流そう	4歳	6月			○	
17	神戸大学附属幼稚園	ザリガニの住処をきれいにしよう	4歳	9月				○
19	神戸大学附属幼稚園	板の上、歩けるかな?	4歳	10月	○			
21	神戸大学附属幼稚園	2人でベルトをどう使う?	4歳	3月			○	○
23	神戸大学附属幼稚園	泥団子が作れたよ	5歳	5月	○	○		
24	神戸大学附属幼稚園	友達と戦いショーをして、お客さんに観てもらいたい	5歳	6月				○
26	神戸大学附属幼稚園	ザリガニの飼育ケースを直そう	5歳	6月				○
27	神戸大学附属幼稚園	スズムシの居心地を良くしてあげたい	5歳	6月				○
28	神戸大学附属幼稚園	グループの友達とカメの世話をする	5歳	6月			○	○
29	神戸大学附属幼稚園	カメの世話を一緒にしよう	5歳	7月				○
30	神戸大学附属幼稚園	ザリガニを釣りたい	5歳	7月			○	
31	神戸大学附属幼稚園	みんなで頑丈な秘密基地を作りたい	5歳	10月				○
32	神戸大学附属幼稚園	海賊船の旗を作ろう	5歳	10月				○
33	神戸大学附属幼稚園	キャベツを青虫から守りたい	5歳	10月		○		
34	神戸大学附属幼稚園	馬跳びができるようになりたい!	5歳	10月	○		○	
36	神戸大学附属幼稚園	劇の準備をしよう	5歳	2月				○
37	神戸大学附属幼稚園	友達が困らない鬼ごっこのルールを見付けたい	5歳	3月		○	○	
38	神戸大学附属幼稚園	発表会の道具を解体してそりを作ろう	5歳	3月				○
国3	弘前大学教育学部附属幼稚園	秘密基地を作ろう	5歳	2月		○		○
国4	岩手大学教育学部附属幼稚園	海賊船ごっこから、海賊船ごっこへ	5歳	10月	○			
国6	秋田大学教育文化学部附属幼稚園	次こっちだよ。はいどうぞ。	5歳	2月		○		
国8	福島大学附属幼稚園	鉄棒ができるようになりたい	5歳	11月	○	○		
国9	茨城大学教育学部附属幼稚園	トンボやメダカの住む池になるといいね	5歳	5月			○	
国10	宇都宮大学教育学部附属幼稚園	「また来るといいね」	5歳	6月				○
国11	群馬大学教育学部附属幼稚園	チャリーディング	5歳	9月			○	○
国12	埼玉大学教育学部附属幼稚園	カリン取りをしよう	4歳	6月				○
国14	東京学芸大学附属幼稚園	どうやってリレーを走る?	5歳	9月	○			
国17	新潟大学教育学部附属幼稚園	成功させよう合同応援	5歳	8月				○
国21	信州大学教育学部附属幼稚園	友だちと花火大会をしよう	5歳	6月			○	
国22	上越教育大学附属幼稚園	修了証書をつくろう	5歳	6月	○			
国24	愛知教育大学附属幼稚園	七夕会で出し物をしよう	5歳	6月	○			
国25	三重大学教育学部附属幼稚園	劇遊び「ももたろう」キジの動きを表現しよう～Rの姿を中心として	5歳	11月		○		
国31	奈良教育大学附属幼稚園	鬼ごっこのルールを考えよう	5歳	11月		○		
国32	奈良女子大学附属幼稚園	「病院」グループの役割を決めよう	5歳	10月		○		
国39	鳴門教育大学附属幼稚園	プロペラの飛行機	5歳	9月				○
国40	香川大学教育学部附属幼稚園	サッカーする中で友達の思いを感じながら、共に楽しみ、わり合っていく	5歳	10月	○	○		
国41	愛媛大学教育学部附属幼稚園	一緒に店を開こう	5歳	6月			○	
国42	高知大学教育学部附属幼稚園	勝ちたい思いが強くて	5歳	9月	○			
国47	大分大学教育学部附属幼稚園	ツクシパーティをしよう	5歳	3月			○	
公2	川西市立東谷幼稚園	ボールを転がすコースを作ろう	5歳	6月				○
公2	川西市立東谷幼稚園	おばけ屋敷の看板を作ろう	5歳	10月				○
公3	赤穂市立坂越幼稚園	アイスクリーム屋の看板を取りつけよう	5歳	10月				○
公4	神戸市立神戸幼稚園	流しそめんしよう	5歳	8月		○		
公4	神戸市立神戸幼稚園	赤鼻のトナカイになりたい!	5歳	12月			○	
公5	神戸市立たるみ幼稚園	1番になりたい	5歳	9月		○	○	○
公6	明石市立播陽幼稚園	勝つための作戦を考えよう	5歳	6月		○	○	
公7	明石市立明石幼稚園	綱引きで負ける悔しい気持ちに折り合いをつける	5歳	9月			○	○
公9	明石市立朝霧幼稚園	鬼ごっこ 10秒ルールどちらが数える?	5歳	10月	○			
公9	明石市立朝霧幼稚園	どんぐりホッケーテーブルの脚づくり	5歳	10月			○	
公11	明石市立花園幼稚園	楽しいおばけやしきが作りたい	5歳	11月	○		○	
公12	明石市立貴崎幼稚園	射的やさんの準備をしよう	5歳	11月			○	

公 13	明石市立大久保南幼稚園	しっぽ取りのルールを考えよう	5歳	9月				○
公 14	明石市立高丘東幼稚園	V字に組み合わせた輪に水を流してペットボトルロケットを飛ばそう	5歳	6月				○
公 16	明石市立谷八木幼稚園	竹馬のれたよ	5歳	10月	○			
公 17	明石市立清水幼稚園	しっぽとりをしよう	4歳	11月				○
公 18	明石市立錦が丘幼稚園	運動会を描こう	5歳	10月	○			○
公 19	明石市立錦浦幼稚園	自分で台詞が言えたよ!	5歳	10月			○	
公 21	明石市立二見西幼稚園	ダンボールで迷路を作ろう	5歳	11月			○	○
公 26	三木市立緑が丘東幼稚園	帽子取り「友達の思いを受け止め、折り合いをつける」	5歳	9月		○		
公 27	三木市立自由が丘幼稚園	みんなで葉っぱのお店屋さんごっこをしよう	4, 5歳	10月			○	
公 28	三木市立広野幼稚園	迷路屋さん お客さんをびっくりさせるための大作戦を考えよう!	4, 5歳	7月		○		
公 29	三木市立よかわ幼稚園	真ん中がどこかを知りたい	5歳	9月				○

「協同性」の「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」は次のとおりである。

友達との関わりを通して、互いの思いや考えなどを共有し、それらの実現に向けて、工夫したり、協力したりする充実感を味わいながらやり遂げるようになる。

「協同性」においては、さらに4つの具体的な姿が示されている。以下、具体的な姿毎に本研究の事例より抽出した効果的な指導方法を学年毎に記す。

① 友達と積極的に関わり様々な出来事を共有しながら多様な感情の交流を通して、友達の異なる思いや考えなどに気付いたり、自己の存在感を感じたりしながら行動するようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児
- 友達のために、遊具が空いていることを早く知らせられるように、一緒に友達の所に行き、気持ちを代弁する姿を見せたり、伝えようとする姿を認めたりする。そして、伝えたい思いを支えられるように、名前を知らせたり、言い方を見せたりする。
 - 互いの存在を心地よく感じられるように、教師がお礼を言って見せたり、友達がしてくれていることを伝えたりする。
- 4歳児
- 遊びへの関心が高まるように、教師が遊んでいる姿を見せる。
- 5歳児
- やってみようと思えるように、教師や友達がしていることを見せたり、感じていることを聞かせたりしてきっかけをつくる。
 - 諦めずに挑戦しようと思えるように、練習に付き合い、応援したり、コツや感覚を感じられるよう補助をしたり、安心できるよう傍についていたりする。
 - 何度も練習し、難しかったことができるようになったと満足感を味わえるように、できたことをほめたり何度も練習して頑張ってきたことを伝えたりする。
 - 練習に付き合ってくれる友達のよさを感じられるように、練習に付き合ってくれていることや練習に付き合ってくれた友達のおかげでもあることを伝える。

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児
-
- 4歳児
-
- 5歳児
- 多様な考えに触れ、互いに考えやイメージを出し合いながら、イメージの実現に向けて協力し合うことの面白さや充実感を体験できるように、本物らしく作ろうとする思いを受け止めながら考えを提供したり、多くの仲間とかかわれる状況を作ったりする。
 - 友達のことを自分のことのように喜んだり、一緒に乗り越えた満足感を味わったりできるように、できた喜びに共感したり、できるようになった背景には、友達が一緒に取り組んでくれたことや具体的なアドバイスなどがあったことを言葉にして確認したりする。
 - 自ら参加しながら、友達の様子に気付いたり、これまでの経験を照らし合わせながら、友達のことを考えて発言したりできるように、教師からやり方を投げかけることを控える。
 - 友達とかかわり、遊びのようにいろいろな考えを出し合って取り組めるように、採集対象の基準のみを言葉で伝える。
 - みんなで決めようという気持ちももてるように、自分だけで考えている子供に友達の思いを投げかける。
 - 友達の怒りを非難するのではなく、自分なりに受け止めていこうとしたり、再び遊びへと向かおうと考えたりするように、友達の言葉をそのままとらえることなく、心に溜まっている思いを他児と感じ合えることを大切にする。
 - 共感的な思いをもって一緒に考えられるように、おもしろがっている様子の子供に、どうして相手の邪魔をしたのか尋ねたり、あいまいになりかけていた勝ちたかった思いを確認したり、クラスの前でその思いを表す機会を設けたり、気持ちに共感するような言葉がけをしたりする。
 - 協同性につながるように、クラス全員で考える機会を作る。

- ・共通の目的意識を強め、共通の学びへとつながるように、様々な自分の考えを言い、友達の考えを聞く状況を作る。
- ・自分の思いや考えを伝え合ったり、小さな困り感でもすぐに解決したりするように、仕事を共にしたグループで取り組む状況を作る。

② 幼児同士の関わりが深まる中で互いの思いや考えに気付き、分かるように伝えたり、相手の気持ちを理解して自分の思いの表し方を考えたり、我慢したり、気持ちを切り替えたりなどしながら互いに関心を寄せ、分かり合えるようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|---|
| 3歳児 | ・友達のために、遊具が空いていることを早く知らせられるように、一緒に友達の所に行き、気持ちを代弁する姿を見せたり、伝えようとする姿を認めたりする。そして、伝えたい思いを支えられるように、名前を知らせたり、言い方を見せたりしている。 |
| 4歳児 | ・ |
| 5歳児 | ・友達に教えたいという気持ちが芽生えるように、感じたことを言葉にしたり、考えたことを言葉にしてやって見せたり、変化につながったことを言葉にして意識させたりし、してきたことと結び付けて自信をもたせる。
・友達に分かるように伝えられるよう、理由を話してみることを提案する。
・自分の嫌な気持ちをあきらめずに伝えようと思えるように、自分の気持ちを言わないと伝わらないことを話したり、本当に伝えたい嫌なことを確かめて自覚させたりする。 |

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|---|
| 3歳児 | ・ |
| 4歳児 | ・気持ちがほぐれるように、見守る。
・考えに共感し受け入れることができるように、考えを実際に行っているのを見る状況を作る。 |
| 5歳児 | ・考えに共感し受け入れることができるように、考えを実際に行っているのを見る状況を作る。
・子供同士で意見やイメージを伝え合い、役割を考えて行動できるように、仲間の一員として子供達の考えややりたいことを肯定的に後押しする。
・自分たちだけで遊びたい気持ちと、年中児の要求や教師の期待を折り合わせ、気持ちを切り替えることができるように、心から称揚したり、年中組のあこがれを代弁して伝えたり、案内することを提案したりする。
・友達のことを自分のことのように喜んだり、一緒に乗り越えた満足感を味わったりできるように、できた喜びに共感したり、できるようになった背景には、友達が一緒に取り組んでくれたことや具体的なアドバイスなどがあったことを言葉にして確認したりする。
・動きを知らない友達に、何とか決まった動きを一緒にしようとリードしながら動いていけるように、友達の思いや姿を他児に伝えたり、その場にはいない友達のことを仲間の一員として意識し、友達の役割を組み込みながら動きを作っていることを認めたりする。
・友達のことを助けてかわりをもととできるように、なかなか動き出せないでいる子供の姿を知らせる。
・共通の目標に向かって、自分なりに作戦を考え、自分の思いや考えを友達に伝えたり、友達の考えを受け入れたりし、友達と試行錯誤しながら遊びを進めていけるように、継続的にグループの友達と考え合う機会を設ける。
・話し合ったり、実際に見せ合ったりして、ルールを考えられるように、困った状況がどうい状況か問いかける。
・自分の思いとは違う友達の思いがあることに気づき、気持ちの葛藤を経験できるように、クラス全体で話し合う状況を作る。
・相手の気持ちを受け入れ自分の気持ちを我慢することが出来るように、気持ちを分かろうとし、クラスの皆が真剣に話し合ってくれる状況を作る。 |

③ 友達との関わりを通して互いの感じ方や考え方などに気付き、互いのよさが分かり、それに応じた関わりを通して、学級全体などで楽しみながら一緒に遊びを進めていくようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|---|
| 3歳児 | ・誘われるうれしさや一緒にいる心地よさを感じられるように、気になっている友達の居場所を知らせてかわりをもつきっかけをつくる。
・2人で決めている遊びへの期待を高められるように、楽しみにしていることを話す。
・ごっこ遊びのイメージが共通のものになるように、一緒に遊びながら、ごっこのイメージで問いかける。 |
|-----|---|

4 歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に足が泥から抜けなくなっている面白さを感じられるように、笑って足を抜くことを応援し、楽しい雰囲気を広める。 ・他者のよいところに着目していけるように、友達のよいところを見つけていることをほめる。 ・友達と一緒に楽しみながら生き物の世話ができるように、3名で一緒に洗うことができる大きさのたらいでザリガニを飼育し、たわしを3つ以上子供が使える所に用意しておく。そして、みんなで歌ったことのある歌を歌いながらせわをしている機会をとらえて、教師が歌を歌いながら洗うよさを言葉にする。 ・友達が話を聞いてくれたり一緒に考えてくれたりした嬉しさを感じられるように、みんなが一緒に考えてくれたことを言葉にして伝える。
5 歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の変化をすごいと思えるように、前はできなかった友達ができるようになった変化を言葉にして伝える。 ・感じていることを意識できるように、何をすごいと思っているかを見取り、共感する。 ・友達が馬になってくれたおかげで馬跳びができるようになったことや、その友達のよさを感じられるように、友達がずっと練習に付き合ってくれたことを知らせる。 ・自分の嫌な気持ちをあきらめずに伝えようと思えるように、自分の気持ちを言わないと伝わらないことを話したり、本当に伝えたい嫌なことを確かめて自覚させたりする。

学年	研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法
3 歳児	・
4 歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・普段あまりかかわりのない子同士がかかわれるように、散り始めた木の葉の環境を用意する。 ・互いに認め合えるように、思いを読み取って相手の子供に繋ぐ。
5 歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・普段あまりかかわりのない子同士がかかわれるように、散り始めた木の葉の環境を用意する。 ・互いに認め合えるように、思いを読み取って相手の子供に繋ぐ。 ・自分のこととして考えられるように、一人の気付きをみんなの気付きに広げてつなぐ。 ・共通の目的を見だし工夫したり協力したりするように、様々な気付きや疑問が生じた時にみんなで話し合いを重ねていく。 ・友達のしていることを尊重しながら、自分でできることをして楽しもう、自分なりの参加の仕方をしようと思えるように、他の幼児と一緒に観客になり、見守る。 ・自信と喜びがもてるように、子供達の動きを肯定的なまなざしで見守る。 ・動きを知らない友達に、何とか決まった動きを一緒にしようとしてリードしながら動いていけるように、友達の思いや姿を他児に伝えたり、その場にはいない友達のことを仲間の一員として意識し、友達の役割を組み込みながら動きを作っていることを認めたりする。 ・目的に向かって一緒に活動した仲間としても実感を深められるように、年下の子の思いに応えたことを具体的に褒めたり、「二人の店」として意味付けたりする。 ・よさを認められるように、紹介する場を作る。 ・同じ目標をもち、役割分担をする、友達のしていることに興味をもったり試したりする、友達の思いを受け止める、互いに行っていることを受容するなど、仲間意識が一層強まり、共に楽しさを味わえるように、友達と思いや考えを出し合って工夫したり試したりしながら遊ぶ経験を積み重ねたり、互いの思いを出し合える関係性を築いたりする。 ・全員が納得して友達と一緒に進めていくことができるように、友達の気持ちを聞き、分かり、その気持ちに寄り添っている子供の姿を見る。 ・共通の目標に向かって、自分なりに作戦を考え、自分の思いや考えを友達に伝えたり、友達の考えを受け入れたりし、友達と試行錯誤しながら遊びを進めていけるように、継続的にグループの友達と考え合う機会を設ける。 ・友達が言葉や身体で表現したことを理解するだけでなく、自分なりの工夫も伝え合えるように、具体的に表現するよう問いかける。 ・クラスの力に繋がるように、子供から問題を提議したり、解決の糸口を自ら探したりできるきっかけを探れるように促したり、少人数で話し合う場を設定したりする。 ・自分で考え行動するように、友達の意見を聞く状況を作る。 ・遊びが展開するように、友達と一緒に確認し試すことを楽しみ、知らせる。 ・共通の目的意識を強め、共通の学びへとつながるように、様々な自分の考えを言い、友達の考えを聞く状況を作る。 ・次はこうしたいと自分なりの目標を描き、友達にもなげかけ思いや考えを実現させていく面白さを感じられるように、友達や教師の意見やアイデアを素直に聞いたり、周りの状況や友達の姿を敏感に受けとめたりできる状況を作る。 ・グループごとの思いをクラス全体で共有できるように、作品をOHPに映す。 ・頑張ったことへの嬉しさを感じられるように、褒める。 ・活動への満足感が得られるように、一組のグループの友達に褒められる状況を作る。 ・友達の思いに気付き、役割を分担し、遊びを進めていこうという思いをもてるように、困り感に寄り添いながら具体的に作業内容を伝え、遊びに取り組みやすいように援助する。

④

人と共にいる喜びを感じ、学級皆で目的や願いを共有し志向する中で、話し合ったり、取りなしたり、皆の考え方をまとめたり、自分の役割を考えて行動したりするなどして折り合いを付け問題を解決し、実現に向け個々のよさを発揮し工夫したり、協力したりする楽しさや充実感を味わいながらやり遂げるようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児

・

4歳児

- ・ザリガニのために水を替えてやろうという思いをもつことができるように、ザリガニの汚れた水を、顔をしかめて見る姿を見せて、水が汚れていることに気付くきっかけを作ったり、ザリガニの思いを想像して言葉にしたりする。
- ・ザリガニの住処をきれいにしたいという目的に向かえるように、水替えに必要な物を出したり、水替えの仕方を伝えて、思い出すきっかけをつくったりする。
- ・友達が話を聞いてくれたり一緒に考えてくれたりした嬉しさを感じられるように、みんなと一緒に考えてくれたことを言葉にして伝える。

5歳児

- ・共通の目的をもって友達と進める中で、意見がぶつかりながらもみんなが楽しくできるよう、互いの考えが分かるように伝えられるように言ったことの意味を尋ねたり、友達の気持ちを聞いた上で、どうすればよいか考えられるように尋ねたりする。そして、互いの考えを出し合って、やり方を決められたことがよかったと思えるよう、共感する。
- ・水漏れの原因を共有できるように、原因を突き止めた子供の気付きを話すように促す。
- ・子供達だけでは原因や方法を考え出せない際に、教師が原因や方法を尋ねて新たに考えるきっかけを作ったり、新たな方法を試した後に結果を尋ねて全員で確かめるきっかけを作ったりする。
- ・生き物の居心地をよくしたいという共通の目的に向けて、自分ができることを考えて動けるように、必要なものを子供の求めに応じて用意したり、実現している良さを言葉に出して共に喜んだりする。
- ・生き物の世話をみんなでそろって最後までしようという気持ちになれるように、友達がそろっているか確かめるよう声をかけた。また、それぞれの考えてしていることのよさを感じられるように、自分のできることを見つけてすることで世話が進んでいることを知らせる。
- ・愛着が生まれ、みんなで世話をしたいという共通の思いが生まれるように、カメの世話をした子供の気付きを発信したり世話について考えたりする場をもつ。
- ・みんなで作るために考えを出し合ったり支え合ったりすることで、次第に丈夫にできあがってきていることを嬉しいと思えるように、丈夫になっていることを伝えたり、ガムテープが強く巻いてあることやしっかりととめられていることを実際に揺らしてみても感心し、みんなで力を合わせて丈夫になってきたことを褒めたりする。
- ・考えていることを他の友達に話すきっかけになるように、必要なものがあると思っている友達がいることを言葉にする。
- ・友達の様子を見て、自分でできるを見付けられるよう、自分にできることはないか尋ねる。
- ・したいと思っていることを出し合えるように、活動を始める前に何をするか教師が尋ね、同じグループの友達の考えを一緒に聞く。
- ・活動を始める前に今日は何をするかを尋ね、グループ全員でその日にすることを共有する。
- ・グループのみんなで相談して決めたり進めたりしようという気持ちを持ち、話し合って解決していけるように、「ともだちといっしょに」、「ちからをあわせて（みんなでそうだんする）（みんなががんばる）」「つくりだす」という言葉を共有し、それぞれが自分の思いだけで準備をしている際にはこれらの言葉を振り返る。
- ・よりよいものを作りたいと考えている子供達の共通の願いが叶うように、それぞれのしたいことに合う材料と一緒に用意したり、子供達の使い慣れた材料を用意しておいたりする。

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児

・

4歳児

- ・自分達で考えた案を受け入れ満足感を味わえるように、子供達の思いを尊重し、問いかけることで自分の思いが伝えられるように努める。

5歳児

- ・子供同士で意見やイメージを伝え合い、役割を考えて行動できるように、仲間の一員として子供達の考えややりたいことを肯定的に後押しする。
- ・共通の目的となって協力し合うように、出来事を大切な経験の機会ととらえ、子供達に対象とかかわれる機会を作る。
- ・遊びに対する興味・関心、さらには憧れの気持ちを抱いたり、自分たちが入ることで遊びが面白くなると思えるように、「チアのショーすごかったね。人が多いいろいろな技ができて楽しそうだったね」という言葉を掛ける。
- ・中学生や学級の仲間と思いや願い、目的を共有し、繰り返し練習するように、幼小中合同運動会の中で、年長児が小中学生と一緒に応援を披露する種目を設ける。
- ・本番に向けての一体感を味わったり上達の喜びを実感したりするように、指導役として中学生を招き、みんなで練習する場を設定する。
- ・自分の考えを伝えたり、力を発揮したりすることができ、協力して看板を作り上げる楽しさや満足感を感じることができるように、自分たちの力で看板が完成できるように見守る。
- ・互いの考えに触れ、新しい考えを生み出し、伝え合いながら、最後まで共通の目的に向けて、試行錯誤することができるように、子供の気付きを相手に知らせるきっかけをつくったり、手伝ったりする。
- ・目的達成までの過程を互いが確認し合い、協力して目的達成されたことを認識し、共に充実感を味わえる

-
- ように、目的達成できたことを問う。
- 共通の目標に向かって、自分なりに作戦を考え、自分の思いや考えを友達に伝えたり、友達の考えを受け入れたりし、友達と試行錯誤しながら遊びを進めていけるように、継続的にグループの友達と考え合う機会を設ける。
 - クラス全体の気持ちとして共有し理解することができるように、思いを言葉で補う。
 - 共通のルールが決まり、遊びへの意欲が高まるように、ルールを伝えることなく遊びを始めたり、問い掛けやまとめをしたりする。
 - 満足感を高められるように、ともに喜ぶ。
 - 途中であきらめずに成功するまで繰り返し試すことができるように、気の合う友達と共に状況を見守り、考えたり、なかなかうまくいかなくて残念がったりいろいろな感情を共有する状況を作る。
 - 自分で考える意欲が湧き、方法を考えたり、一緒にしようという気持ちになったりし、それぞれが自己肯定感を味わいながら友達と一緒にものごとをすすめることの喜びを感じることができるように、環境を幼児の目につくように置いたり、日頃とは違う使い方をして良いことも承認したりする。
 - 長さを測りたいという共通の思いが実現できるように、メジャーで長さを知る方法を伝える。
 - 物の真ん中を見つけないという共通の思いが実現できるように、今までに半分にする経験のあるタオルを提示する。
 - 遊戯室の半分を見つけないという共通の思いが実現できるように、その物自身を半分にできない場合の方法に気づく声かけをする。
-

4) 道徳性・規範意識の芽生え

「道徳性・規範意識の芽生え」に関する考察が含まれる事例の一覧は次のとおりである。

番号	園名	事例名	年齢	月	道徳性・規範意識の芽生え				
					①	②	③	④	⑤
3	神戸大学附属幼稚園	三輪車 空いてるよ!	3歳	5月		○			
5	神戸大学附属幼稚園	ダンゴムシの赤ちゃんが生まれた!	3歳	5月		○			
10	神戸大学附属幼稚園	時計を作りたい	3歳	11月				○	
21	神戸大学附属幼稚園	2人でベルトをどう使う?	4歳	3月		○			
34	神戸大学附属幼稚園	馬跳びができるようになりたい!	5歳	10月		○			
37	神戸大学附属幼稚園	友達が困らない鬼ごっこのルールを見付けたい	5歳	3月		○	○		
国6	秋田大学教育文化学部附属幼稚園	次こっちだよ。はいどうぞ。	5歳	2月			○		
国13	千葉大学教育学部附属幼稚園	「負けてもいいんだよ」(リレー)	5歳	9月		○			
国14	東京学芸大学附属幼稚園竹早園舎	ルビちゃん(モルモット)のお世話はみんなでしたい	5歳	11月	○				○
国26	滋賀大学教育学部附属幼稚園	お寿司屋さんに来てもらおう	4歳	10月		○			
国27	京都教育大学附属幼稚園	運転席に乗りたい!	4歳	6月		○			
国28	大阪教育大学附属幼稚園	自分の行動を振り返る	5歳	9月	○	○			
国29	兵庫教育大学附属幼稚園	僕が助けてあげよう	5歳	4月	○	○			
国31	奈良教育大学附属幼稚園	鬼ごっこのルールを考えよう	5歳	11月			○		
国32	奈良女子大学附属幼稚園	「病院」グループの役割を決めよう	5歳	10月					○
国40	香川大学教育学部附属幼稚園	サッカーする中で友達の思いを感じながら、共に楽しみ、わかり合っていく	5歳	10月		○			
公2	川西市立東谷幼稚園	電車ごっこを皆で楽しもう	4歳	6月	○		○		
公2	川西市立東谷幼稚園	おばけ屋敷の看板を作ろう	5歳	10月		○			
公4	神戸市立神戸幼稚園	赤鼻のトナカイになりたい!	5歳	12月		○			
公9	明石市立朝霧幼稚園	どんぐりホッケーテーブルの脚づくり	5歳	10月		○			
公15	明石市立高丘西幼稚園	ひっくり返しゲームのルール作り	4歳	6月	○				
公20	明石市立二見北幼稚園	しっぽの数を比べよう	5歳	7月		○			
公22	三木市立三樹幼稚園	わくわくあそび(ドッジボール)	5歳	11月		○			
公23	三木市立三木幼稚園	合同遊び 棒引き	4, 5歳	10月		○	○		○
公25	三木市立緑が丘幼稚園	のびのび遊び(帽子とりごっこ)	5歳	9月		○			
公26	三木市立緑が丘東幼稚園	帽子取り「友達の思いを受け止め、折り合いをつける」	5歳	9月		○			

「道徳性・規範意識の芽生え」の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は次のとおりである。

してよいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動するようになり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、決まりを守る必要性が分かり、決まりを作ったり守ったりするようになる。

「道徳性・規範意識の芽生え」においては、さらに5つの具体的な姿が示されている。以下、具体的な姿毎に本研究の事例より抽出した効果的な指導方法を学年毎に記す。

① 他の幼児との葛藤などの様々な体験を重ね、してよいことや悪いことが分かり、自分で考えようとする気持ちを持ち、思い巡らしたりなどして自分の考えをより適切にしながら行動するようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児 ・
- 4歳児 ・
- 5歳児 ・

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児 ・
- 4歳児 ・友達の気持ちに気付き、自分の遊びたい気持ちと葛藤しつつも折り合いをつけられるように、気持ちを受け止め、思いを聞いたり、共感したりする。
・相手チームが困ることに気付けるように、一人の気づきを全体に広める。

5歳児	・相手に気持ちを伝えようとするように、思いを巡らせる十分な時間を確保し、思いを伝えられるような雰囲気づくり、間に入って両者の話を聞き出しながら整理していくことをする。
-----	---

② 友達などの気持ちを理解し、他者の気持ちに共感したり、相手の立場から自分の行動を振り返ったりして、思いやりを持って関わり相手の気持ちを大切に考えながら行動するようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児	・友達のことを思う気持ちでしようとしていることが叶うように、友達に伝えようとしていることを認め、友達の名前を知らせたり、呼んで見せたり、友達を呼びに行く間使いたいと思っているものを確保したりして支える。 ・遊びの中で少しずつ他者を知り、つながっていけるように、必要なタイミングで名前を知らせ呼んで見せる。 ・それぞれの思いを伝え合えるように、言葉で言うことはまだできない子供の気持ちを教師が受け止めて相手に伝える。
4歳児	・互いに納得する方法を考えられるように、話すことが難しい時にはパイプ役をしつつ、子供同士で方法を考えて提案している時にはその姿を見守る。
5歳児	・友達のために頑張る子供の存在が伝わるように、友達のためにと考えてしてくれていることを知らせる。

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児	・
4歳児	・遊びの簡単なルールを守りながらも、3歳に合わせた方法を考え、分かりやすく伝えられるように、3歳が困っている状況であることを、視線を送り、様子を見る。 ・自分自身の葛藤と向き合い、気持ちを調整できるように、葛藤する姿そのままを受け止め、葛藤とどのように向き合っていくのかを見守る。
5歳児	・頑なな気持ちを柔軟にし、自分の行動を振り返り、相手に素直な気持ちを話せるように、友達が涙を流しながら自分の言ったことを振り返る姿や、素直に気持ちを言葉で表そうとする姿を見せたり、気持ちを受け止めるといった姿勢を示し、幼児が友達の思いを感じられるよう言葉を引き出したり、話を整理したりしながら、最終的には友達同士で話ができるよう見守ったりする。 ・3歳児の寂しい気持ちに気づき、共感し、困っている3歳児に思いやりを持って関われるように、させたくない思いを尊重しながら、3歳児の気持ちに気付くような関わりを行う。 ・話の内容、気持ちの行方を自分なりに受け止めながら、友達の気持ちを理解しているという思いを素直な言動で表せるように、いつもの友達がいる場で、耳を傾けるかわりをする中で、自分たちのこととして、受け入れ合うことを見守る。 ・相手の思いを知られるように、両者の思いをしっかりと聞く。 ・相手を思いやったり、相手の考えを知ろうとしたりするように、子供なりの表現の仕方を教師が代弁し伝える。 ・互いの気持ちを受け止め、考えられるように、クラス全体で話し合いの場をもつ。

③ 学級の皆と心地よく過ごしたり、より遊びを楽しくしたりするために決まりのあることが分かり、守ったり、必要に応じて作り替えたり、新たに作ったりして考え工夫し守るようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児	・
4歳児	・
5歳児	・

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児	・
4歳児	・皆が共通理解して順番を守って遊べるように、声を掛け、電車を待つ間ベンチに座る。
5歳児	・自分の思いを伝えることができるように、思いをまずは丁寧に聞く。 ・それぞれに意見を出し、ルールを確認することができるように、思いを受け止めた上で、ルールについて一緒に遊んでいた子供達とじっくり時間をかけて話し合う場をつくる。

④ 皆で使う物が分かり愛着を持ち、自他の要求に折り合いを付け大事に扱うようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|--|
| 3歳児 | ・使えるものだから置いておいた方がいいと感じられるように、散らばっている材料をまだ使えるという理由を言いながら製作ワゴンに戻す姿を見せたり、使えると思うか尋ねたりする。 |
| 4歳児 | ・ |
| 5歳児 | ・ |

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|---|
| 3歳児 | ・ |
| 4歳児 | ・ |
| 5歳児 | ・ |

⑤ 自分の気持ちを調整しながら、友達と折り合いを付けたり、取りなしたり取り持ったりして周囲との関わりを深め、決まりを守るようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|---|
| 3歳児 | ・ |
| 4歳児 | ・したいことを意識しつつ気持ちに折り合いを付けていけるように、双方に本当はどうしたいか尋ねて一緒に考える。 |
| 5歳児 | ・ |

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|--|
| 3歳児 | ・ |
| 4歳児 | ・ |
| 5歳児 | ・自分たちなりに「当番」の意味や価値をもち、それを果たすことの喜びや自信をもてるように、「当番活動」の意味を、繰り返して、考えるよう具体的な例えを挙げながら投げ掛ける。 |

5) 社会生活との関わり

「社会生活との関わり」に関する考察が含まれる事例の一覧は次のとおりである。

番号	園名	事例名	年齢	月	社会生活との関わり					
					①	②	③	④	⑤	⑥
25	神戸大学附属幼稚園	幼虫がいた！飼ってみよう！	5歳	6月				○		
31	神戸大学附属幼稚園	みんなで頑丈な秘密基地を作りたい	5歳	10月				○		
国17	新潟大学教育学部附属幼稚園	成功させよう合同応援	5歳	8月		○				
国18	富山大学人間発達科学部附属幼稚園	美術館へ出かけよう	5歳	10月					○	
国19	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属幼稚園	色々な国旗を描こう	4歳	9月						○
国19	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属幼稚園	イギリスってどこにあるの？	5歳	9月						○
国20	福井大学教育学部附属幼稚園	おじいちゃん、おばあちゃんと遊ぼう	5歳	9月	○					
国21	信州大学教育学部附属幼稚園	友だちと花火大会をしよう	5歳	6月				○		
国22	上越教育大学附属幼稚園	修了証書をつくろう	5歳	6月			○			
公10	明石市立林幼稚園	Aさんの田んぼに行こう	5歳	6月		○				

「社会生活との関わり」の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は次のとおりである。

家族を大切にしようとする気持ちを持ちつつ、いろいろな人と関わりながら、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に一層の親しみを持つようになる。

遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報を伝え合ったり、活用したり、情報に基づき判断しようとしたりして、情報を取捨選択などして役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用したりなどして、社会とのつながりの意識等が芽生えるようになる。

「社会生活との関わり」においては、さらに6つの具体的な姿が示されている。以下、具体的な姿毎に本研究の事例より抽出した効果的な指導方法を学年毎に記す。

① 親や祖父母など家族から愛されていることに気づき、自分なりに思い巡らしたり表現したりして、家族を大切にしようとする気持ちを持つようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児 ・
- 4歳児 ・
- 5歳児 ・

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児 ・
- 4歳児 ・
- 5歳児 ・

② 小学生・中学生、高齢者や働く人々など自分の生活に関係の深い地域の人々との触れ合いの中で、自分から親しみの気持ちを持って接し、自分が役に立つ喜びを感じるようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児 ・
- 4歳児 ・
- 5歳児 ・

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児 ・
- 4歳児 ・

5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生と触れ合えるのを楽しみにできるように、複数回にわたって中学生と一緒に練習する場を設定する。また、練習後に中学生と園児が自由に遊べる時間を確保する。 ・園児が中学生に親しみの気持ちをもって接するように、中学生に指導のポイントを伝えたり、園児が抱いている期待感や感謝の気持ちを話したりする。 ・親しみを感じて地域の方と触れ合うことができるように、春はれんげ摘みや田植え、秋には稲刈りと年間指導計画として交流を位置づける。
-----	--

③ 四季折々の地域の伝統的な行事などへの参加を通して、自分たちの住む地域のよさを感じ、地域が育んできた文化や生活などの豊かさに気づき、一層親しみを感じるようになる。

学年	神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	・
4歳児	・
5歳児	・

学年	研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	・
4歳児	・
5歳児	・昔の人々の大変さ、昔の人々が育んできた和紙作りの喜びを感じられるように、地域で昔から継承している青葙（カラムシ）を使った和紙を子供達自身でつくり、それを修了証書にする。

④ 目的に必要な情報を得て友達同士で伝え合ったり、活用したり、情報に基づき判断しようとしたりするようになる。

学年	神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	・
4歳児	・
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜここにいるのか考えられるように、幼虫がいた木を知らせ、考えるきっかけを作る。 ・子供が気付いている幼虫の色の変化やツノが出ること、ツノの色、匂いなどを言葉にして注目できるように、見付けたことを驚いたり不思議がったりしながら一緒に見る。 ・本当にアゲハ蝶かどうか調べて確かめようと思えるように、幼虫からツノが出る、匂いがすることについて、教師が言葉にして注目させ、図鑑で調べてみるように提案し、一緒に調べる。 ・得られた情報から、したいと考えたことを自分達で進められるように、気持ちを受け止める。

学年	研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	・
4歳児	・
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えた情報をしっかりと受け止め、それを他児にも伝え、一緒に友達の所へ行けるように、自分の近くで考え試す友達の姿が目に入る状況を作る。 ・知っていることを言ったり、エサをあげてみたりするように、周りの子供達に、餌がないと困っていることを投げかけて考えるきっかけを作り、幼虫がいた木を知らせる。

⑤ 公共施設を訪れ、それが皆の物であり自分に関係の深い場であることが分かり、大切に利用するようになる。

学年	神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	・
4歳児	・
5歳児	・

学年	研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	・
4歳児	・
5歳児	・様々な施設が存在することを知り、自分だけでなく訪れた人がみんな楽しめる施設であること、その施設のルールを守って使用することで気持ちよくみんなが使用できること、周りの雰囲気から自分も使用者の一人としてふるまう必要性に気付けるように、4種の公共の施設を、子供の遊びの流れに合わせて訪問する。

⑥ 国旗が掲揚される様々な行事への参加や，運動会などの行事において自分で国旗を作ったりして日常生活の中で国旗に接し親しみを感じるにより，日本の国旗や国際理解への意識や思いが芽生えるようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児 ・

4歳児 ・

5歳児 ・

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児 ・

4歳児 ・外国の場所へと興味が広がるように，自分の描きたい国旗が決まっていな子供に対して，2学期から海外で暮らしている友達の話をする。

・外国への興味が広がるように，世界地図を描き，その地図を使って話す。

5歳児 ・

6) 思考力の芽生え

「思考力の芽生え」に関する考察が含まれる事例の一覧は次のとおりである。

番号	園名	事例名	年齢	月	思考力の芽生え					
					①	②	③	④	⑤	⑥
1	神戸大学附属幼稚園	ブラフォーミングを2つ選びたいな	3歳	4月					○	
4	神戸大学附属幼稚園	どこに隠れているのかな?	3歳	5月	○					
6	神戸大学附属幼稚園	みどりのジュース、入れてほしい	3歳	7月	○					
7	神戸大学附属幼稚園	お医者さんになって病気を治したいな	3歳	10月	○					
9	神戸大学附属幼稚園	バーベキューごっこしよう	3歳	11月						○
11	神戸大学附属幼稚園	乗り物をつなげて遊ぼう	3歳	1月			○			
14	神戸大学附属幼稚園	泥に入って遊ぼう	4歳	6月					○	
15	神戸大学附属幼稚園	樋をつなげて水を流そう	4歳	6月					○	○
16	神戸大学附属幼稚園	家賃してって言って欲しい	4歳	6月				○		
19	神戸大学附属幼稚園	板の上、歩けるかな?	4歳	10月		○				
20	神戸大学附属幼稚園	バツあって、すごい	4歳	12月	○					
23	神戸大学附属幼稚園	泥団子が作れたよ	5歳	5月					○	
25	神戸大学附属幼稚園	幼虫がいた! 飼ってみよう!	5歳	6月		○				
26	神戸大学附属幼稚園	ザリガニの飼育ケースを直そう	5歳	6月					○	○
27	神戸大学附属幼稚園	スズムシの居心地を良くしてあげたい	5歳	6月	○					○
30	神戸大学附属幼稚園	ザリガニを釣りたい	5歳	7月						○
31	神戸大学附属幼稚園	みんなで頑丈な秘密基地を作りたい	5歳	10月			○		○	
35	神戸大学附属幼稚園	ヒヤシンスの花の咲く早さが違うのはなぜ?	5歳	2月			○			
36	神戸大学附属幼稚園	劇の準備をしよう	5歳	2月				○		
38	神戸大学附属幼稚園	発表会の道具を解体してそりを作ろう	5歳	3月	○					○
国1	北海道教育大学附属旭川幼稚園	忍者になって修行をしよう	4歳	5月			○			
国3	弘前大学教育学部附属幼稚園	秘密基地を作ろう	5歳	2月			○		○	○
国5	宮城教育大学附属幼稚園	冬に向かって ~寒さに負けない元気な子~	5歳	11月	○					
国8	福島大学附属幼稚園	鉄棒ができるようになりたい	5歳	11月	○			○		
国9	茨城大学教育学部附属幼稚園	トンボやメダカの住む池になるといいね	5歳	5月				○		
国10	宇都宮大学教育学部附属幼稚園	「また来るといいね」	5歳	6月	○					
国16	山梨大学教育学部附属幼稚園	「仲間はずれ」のチュウリップをなくしたい	5歳	4月		○				
国23	静岡大学教育学部附属幼稚園	キノコがいっぱい見つかったよ	5歳	9月	○					
国26	滋賀大学教育学部附属幼稚園	お寿司屋さんに来てもらおう	4歳	10月						○
国31	奈良教育大学附属幼稚園	鬼ごっこのルールを考えよう	5歳	11月				○		
国35	岡山大学教育学部附属幼稚園	舌にならう舌でできるドングリを水に入れてみよう(ドングリ研究)	3歳	5月			○			
国38	山口大学教育学部附属幼稚園	お芋レストランをしよう	5歳	10月	○					
国43	福岡教育大学附属幼稚園	黄金の滝で遊ぼう	5歳	5月	○					
国44	佐賀大学教育学部附属幼稚園	サウ粉でお料理	4歳	10月				○	○	○
国45	長崎大学教育学部附属幼稚園	虫取り大作戦!	4歳	10月	○					
国46	熊本大学教育学部附属幼稚園	築山からソリが滑るように、橋をかけるぞ!	5歳	10月				○	○	
国47	大分大学教育学部附属幼稚園	ツクシパーティをしよう	5歳	3月			○			○
国48	宮崎大学教育学部附属幼稚園	「段ボールで大きい家をつくろう」	4歳	6月				○		
国49	鹿児島大学教育学部附属幼稚園	たまごの正体は何かな?	3歳	6月		○				
公1	川西市立川西北幼稚園	秘密基地のドアをつくろう!	5歳	10月				○	○	
公2	川西市立東谷幼稚園	ボールを転がすコースを作ろう	5歳	6月			○			
公3	赤穂市立坂越幼稚園	アイスクリーム屋の看板を取りつけよう	5歳	10月				○		
公4	神戸市立神戸幼稚園	流しそうめんしよう	5歳	8月					○	○
公5	神戸市立たるみ幼稚園	1番になりたい	5歳	9月			○	○		
公8	明石市立松が丘幼稚園	松ぼっくりの種を集めて遊ぼう	4, 5歳	10月	○			○		
公9	明石市立朝霧幼稚園	鬼ごっこ 10秒ルールどちらが数える?	5歳	10月			○			
公10	明石市立林幼稚園	Aさんの田んぼに行こう	5歳	6月	○					
公11	明石市立花園幼稚園	楽しいおばけやしきが作りたい	5歳	11月					○	○
公12	明石市立貴崎幼稚園	射的やさんの準備をしよう	5歳	11月				○	○	
公13	明石市立大久保南幼稚園	しっぽ取りのルールを考えよう	5歳	9月				○		
公14	明石市立高丘東幼稚園	V字に組み合わせた縄に水を流してペットボトルロケット飛ばそう	5歳	6月	○					
公15	明石市立高丘西幼稚園	ひっくり返しゲームのルール作り	4歳	6月		○				
公21	明石市立二見西幼稚園	ダンボールで迷路を作ろう	5歳	11月					○	
公25	三木市立緑が丘幼稚園	のびのび遊び(帽子とりごっこ)	5歳	9月			○			
公27	三木市立自由が丘幼稚園	みんなで葉っぱのお店屋さんごっこをしよう	4, 5歳	10月				○		
公28	三木市立広野幼稚園	迷路屋さん お客さんをひっくりさせるための大作戦を考えよう!	4, 5歳	7月			○	○		
公29	三木市立よかわ幼稚園	真ん中がどこかを知りたい	5歳	9月				○		

「思考力の芽生え」の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は次のとおりである。

身近な事象に積極的に関わり、物の性質や仕組み等を感じ取ったり気付いたりする中で、思い巡らし予想したり、工夫したりなど多様な関わりを楽しむようになるとともに、友達などの様々な考えに触れる中で、自ら判断しようとしたり考え直したりなどして、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

「思考力の芽生え」においては、さらに6つの具体的な姿が示されている。以下、具体的な姿毎に本研究の事例より抽出した効果的な指導方法を学年毎に記す。

① 身近な環境に積極的に関わり、自分から気付いたり、発見を楽しんだり、考えたり、振り返ったり、それを別の場面で活用したりするようになる。

学年	神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・中に入ったり電車にして繋げたりして遊べるように、口を開いた段ボール箱を複数用意する。 ・自分のしたことによって色が変わる面白さを感じられ、繰り返してみようと思えるように、簡単に混ぜられ、色の変化が分かりやすい色水を用意する。 ・教師の身長と布団の長さを直接比べることができ、布団の長さが足りないことに気付けるように、頭を布団の端に合わせて横になる。
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・試してみようと思えるように、教師が試してみせたり、気付いたことに注目させたり、すごいと思うことを言葉にしたり、考えたことに期待して楽しみにする姿を見せたりする。
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・卵から生まれクラスで飼育しているスズムシの様子をすぐに見られるように、また、友達と一緒に囲んで気付いたことを伝え合いながら見られるように飼育ケースを保育室の真ん中に置く。 ・スズムシのために暗くしてあげたい、もっと居心地良くしてあげたいと考えていることが良いことだと思えるように、考えていることに驚いたり共感したりする。 ・スズムシの生態についての気付きが広がるように、クラスみんなで話す機会をもつ。 ・自分の考えたことを振り返ったり、必要な物や使い方を考えたりすしていけるように、子供が問題の解決に向けて、目的に向けて考えていることを教師が言葉にして意識できるようにしたり、しようとしていることがはっきりするように尋ねたりする。

学年	研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と試行錯誤して作戦を考え出せるように、遊びに多くの子供を関わらせようと友達に声をかけるように促し、必要な道具をいつでも使えるように準備しておく。 ・自分たちでかかわり、楽しさを共有するように、面白そうな事象とかかわる子供を見つけ、誘いかける。
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちでかかわり、楽しさを共有するように、面白そうな事象とかかわる子供を見つけ、誘いかける。 ・方法を思いつき、満足するように、これまでの遊びの経験から理解する状況を作る。 ・自分達の生活の場を大切にしたい思いと懸命に子育てをしている生き物を守ってあげたいという思いとの狭間でどう共生したらよいかをそれぞれが考えられるように、子供達が気付いたり、考えたりするのを促すような言葉かけを行う。 ・自分たちが発見したり、比較したりすることを、絵本をもとにして考えられるように、それ以前にキノコの本を子供達に見せておく。 ・一人一人が自信をもって自分の気付きや発見、考えを発言しながら、遊びを進められるように、水を運んだり、掘り進めたり、一緒に考えたりする仲間として楽しみながら、一人一人の気付きや発見、うまくいく方法を認める。 ・個々の幼児が積極的にかかわることができるように、解決法を思いついた子供に質問し、一部の幼児の考えを、他の幼児にも知らせる。 ・違いや変化に気付き、これから見学する田植えにより興味をもてるように、春のれんげ摘みに訪れた時との違いを投げかける。 ・田植えの仕方や米の育つ環境、その過程に目を向けられるように、子供の気付きに共感し、他児に広げる。 ・友達の発想が共有され、その発想の面白さに惹かれ、試してみようと思えるように、友達のやろうとしていること、イメージを言語化して他児に伝える。

② 様々な環境に積極的に関わる中で、より深い興味を抱き、不思議に思ったことなどを探究するようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|---|
| 3歳児 | ・ |
| 4歳児 | ・なぜ滑るのか考えようと思えるように、原因は何か問いかける。 |
| 5歳児 | ・なぜここにいるのか考えられるように、幼虫がいた木を知らせ、考えるきっかけを作る。
・子供が気付いている幼虫の色の変化やツノが出ること、ツノの色、匂いなどを言葉にして注目できるように、見付けたことを驚いたり不思議がったりしながら一緒に見る。 |

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|--|
| 3歳児 | ・たまごの正体を何かを探っていけるように、育てる前に、子供達なりに何のたまごなのか予想を立てて育てる。 |
| 4歳児 | ・ |
| 5歳児 | ・探求するように、その子なりの気付きを受け止め、共に不思議さを感じ取る。
・知っていることを言ったり、エサをあげてみたりするように、周りの子供達に、餌がないと困っていることを投げかけて考えるきっかけを作り、幼虫がいた木を知らせる。 |

③ 遊びが深まる中で、多様な関わりを楽しみ、予想したり、確かめたり、振り返ったりして興味や関心を深めるようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|--|
| 3歳児 | ・思うようになっていないことを見付け、それを解決できるように、これまでの経験に照らしておかしいと思うことを言葉にし、考えたことをやってみて確かめられるよう子供達の力では解決できるか見極めつつ、自分達で諦めずに取り組めるように、方法を提案したり難しいことは手伝ったりする。 |
| 4歳児 | ・ |
| 5歳児 | ・実際に試して確かめる良さを意識できるように、確かめていることを具体的に言葉にする。
・ヒヤシンスの育ち方に興味をもって見ようとするように、どの場所に置くかを子供と一緒に考えたり、どれが早く咲くのか、違いはあるのかを予想したり、花の咲き具合が違う理由を尋ねたりクラスみんなで気付いていることを話す機会をもったりして考えるきっかけをつくったり、考えるポイントを伝えたり、他の考えがないか尋ねたりする。 |

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|---|
| 3歳児 | ・意欲的にドングリと水を使っているいろいろな方法をやってみることができるよう、何か思い付いたことを見取り、別に遊びの場を用意する。
・より一層関心を示し、遊び続けることができるように、興味を持ち、不思議に思ったことを試しているそばで、一緒に驚いたり、現れた事象を言葉で伝えたりする。 |
| 4歳児 | ・イメージが広がり、考えを生み出し、目的に向かって、動かし方やタイミングなど、様々な思いを出しながら試行錯誤し、活動することができるように、考えに同調し、話を焦点化する。 |
| 5歳児 | ・イメージが広がり、考えを生み出し、目的に向かって、動かし方やタイミングなど、様々な思いを出しながら試行錯誤し、活動することができるように、考えに同調し、話を焦点化する。
・目的達成への期待や見通しをもって活動を進めることができるように、共通の目的を実現するために、どのような用具が必要か考えて自ら準備し活用できるよう援助したり、気付きに共感し、試みが十分できるよう見守ったりする。
・自分なりの方法を考え、試し、確かめ、工夫し、イメージを膨らませるように、子供の姿を敏感にとらえ、自然をありのままにし、タイミングを見て環境整備を行う。
・一番になるための方法を考えられるように、走順の考え方を具体的に示す。
・よりよい作戦を試行錯誤しながら考えられるように、友達と作戦を考え、考えたことをすぐに試し、実践直後に振り返る機会を繰り返し設ける。
・同じ10秒でも数える人によって長さが違うことを確かめられるように、心の中で10秒数えられたら手を挙げて試すことを促す。 |

④ 友達などの様々な考えに触れる中で、自己の思いや考えなどを自ら判断しようとしていたり考え直したりなどして、新しい思いや考えを生み出す喜びを味わいながらよりよいものにするようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|---|
| 3歳児 | ・ |
| 4歳児 | ・遊びの場が面白くなる方法を考えられるように、本当にしたいことを尋ねてどうすれば思いを叶えられるか考えるきっかけをつくる。 |
| 5歳児 | ・お客さんに伝わる必要を感じてお話を考えられるように、見てくれている友達の感想を聞かせたり、教師がお客さんの立場で解りにくいと思ったところを伝えたりする。 |

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|---|
| 3歳児 | ・ |
| 4歳児 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分がやっている方法との違いや、できあがりには驚き、同じようにできた時に喜びを感じられるように、友達から作り方をしっかり教えてもらえる状況を作る。 ・使うものや方法を考えてイメージに近付けられるように、子供のもつイメージを大切に受け取り、共同作業になり、子供と共に、試したり工夫したりしている。また、保育室にいろいろな素材を準備しておく。 ・遊びに必要な物を自分たちで考え準備するように、それぞれの子供のイメージを大切にしながら応援者になり、つくる過程を一緒に楽しむ雰囲気づくりをする。 ・イメージが広がり、考えを生み出し、目的に向かって、動かし方やタイミングなど、様々な思いを出しながら試行錯誤し、活動することができるように、考えに同調し、話を焦点化する。 |
| 5歳児 | <ul style="list-style-type: none"> ・イメージが広がり、考えを生み出し、目的に向かって、動かし方やタイミングなど、様々な思いを出しながら試行錯誤し、活動することができるように、考えに同調し、話を焦点化する。 ・自分たちなりのよりよい方向を導き出すことができるように、当事者だけでなく、一緒に遊んでいた仲間を巻き込んで問かけ、子供同士で話し合わせる。 ・新しい考えを生み出せるように、考えのそれぞれの良さと、そこで生じる課題を整理して伝え、解決方法を子供同士に任せる。 ・自分の考えだけでは上手くいかないことに気づき、考え直せるように、友達の考えを聞かせる。 ・問題に気づき、考え直せるように、問題を指摘する。 ・一番になるための方法を考えられるように、走順の考え方を具体的に示す。 ・よりよい作戦を試行錯誤しながら考えられるように、友達と作戦を考え、考えたことをすぐに試し、実践直後に振り返る機会を繰り返して設ける。 ・友達の考えを確認したり発想の転換をした意見を述べたりできるように、見本として視覚的に示す。 ・子供達が共通の問題として考えられるように、タイミングを逃さずに子供の発言をとらえ、話し合う場を設定する。 |

⑤ 物との多様な関わりの中で、物の性質や仕組みについて気づき、思い巡らし物を使いこなすようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|---|
| 3歳児 | ・ |
| 4歳児 | <ul style="list-style-type: none"> ・泥から足が抜けられない感覚を感じられるように、誘ったり、様子を見ている子供には、友達の様子を見せたり、友達の感想を聞かせたり、泥から足を抜くことを笑って応援したりする。 ・こぼさないように考えてしたポンプのハンドルの動かし方やカップの向け方をコツとして意識できるように、ポイントを具体的に挙げて伝えたり、こぼさないように方法を考え試していく姿勢に感心したり、試した結果に期待を寄せたりする。 |
| 5歳児 | <ul style="list-style-type: none"> ・やってみようと思えるように、教師や友達がしていることを見せたり、感じていることを聞かせたりしてきっかけをつくる。 ・取り組んできたことによる変化に喜びを感じ、続けてやってみようと思えるように、これまで取り組んできたことと結び付けて話し、意識させる。 ・原因を見極められるように、目線を変えて見る姿を見せる。 ・より詳しく観察しようと思えるように、原因を突き止め、方法をいろいろに考え、考えた方法を試したにもかかわらず、なぜ上手くいかないのかを尋ねる。 ・実際に試して確かめる良さを意識できるように、確かめていることを具体的に言葉にする。 |

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|---|
| 3歳児 | ・ |
| 4歳児 | ・ |
| 5歳児 | <ul style="list-style-type: none"> ・どのような用具が必要か考えて自ら準備し活用できるように、気づきに共感し、試みが十分できるよう見守る。 ・方法を考えられるように、考えを整理する際に物を提示して視覚的に確認する。 ・形が変わることに気づき、構成のイメージが広がるように、ダンボールを開いて見せる。 |

⑥ 身近な物や用具などの特性や仕組みを生かしたり、いろいろな予想をしたりし、楽しみながら工夫して使うようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・台の高さと椅子の高さが合っている感覚を感じられるように、ちょうどいいと感じるものを一緒に探したり、誘導したりする。
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプを使って水の入れ方を工夫しようと思えるように、思うようにできていないことや考えてしていることを言葉にして伝える。
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・原因を見極められるように、視線を変えて見る姿を見せる。 ・より詳しく観察しようと思えるように、原因を突き止め、方法をいろいろに考え、考えた方法を試したにもかかわらず、なぜ上手くいかないのかを尋ねる。 ・卵から生まれクラスで飼育しているスズムシの様子をすぐに見られるように、また、友達と一緒に囲んで気付いたことを伝え合いながら見られるように飼育ケースを保育室の真ん中に置く。 ・スズムシのために暗くしてあげたい、もっと居心地良くしてあげたいと考えていることが良いことだと思えるように、考えていることに驚いたり共感したりする。 ・スズムシの生態についての気付きが広がるように、クラスみんなで話す機会をもつ。 ・考えのよさを実感できるように、目的のために道具の使い方を工夫していることを言葉にしてほめる。 ・自分の考えたことを振り返ったり、必要な物や使い方を考えたりしていけるように、子供が問題の解決に向けて、目的に向けて考えていることを教師が言葉にして意識できるようにしたり、しようとしていることがはっきりするように尋ねたりする。 ・道具の新しい使い方を考えるよさを感じられるように、本来の使い方とは違う使い方をしている姿をとらえ、素材の特性をうまく活用しているのかを見極めて、そのよさをほめる。

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・より本物らしくなるように、材料の質や色から作りたいもののイメージに合わせて自分なりに作れるように、本物らしく作りたいという思いを受け止め、工夫していること、こだわっていることを十分に認めていく。また、どのように作ろうとするかを予想し、材料を用意しておき、要求があった時にいつでも出せるようにしておく。
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・共通のイメージをもち、性質に気付き、方法を見付け、自分たちなりに考え、工夫するように、何か尋ねる。

7) 自然との関わり・生命尊重

「自然との関わり・生命尊重」に関する考察が含まれる事例の一覧は次のとおりである。

番号	園名	事例名	年齢	月	自然との関わり・生命尊重			
					①	②	③	④
5	神戸大学附属幼稚園	ダンゴムシの赤ちゃんが生まれた！	3歳	5月	○			○
12	神戸大学附属幼稚園	サワガニ持てるかな	3歳	3月	○			
14	神戸大学附属幼稚園	泥に入って遊ぼう	4歳	6月	○			
20	神戸大学附属幼稚園	バツバツ、すごい	4歳	12月	○			
25	神戸大学附属幼稚園	幼虫がいた！飼ってみよう！	5歳	6月	○			○
27	神戸大学附属幼稚園	スズムシの居心地を良くしてあげたい	5歳	6月	○			○
28	神戸大学附属幼稚園	グループの友達とカメの世話をする	5歳	6月				○
29	神戸大学附属幼稚園	カメの世話を一緒にしよう	5歳	7月				○
30	神戸大学附属幼稚園	ザリガニを釣りたい	5歳	7月	○			
31	神戸大学附属幼稚園	みんなで頑丈な秘密基地を作りたい	5歳	10月	○			
33	神戸大学附属幼稚園	キャベツを青虫から守りたい	5歳	10月				○
35	神戸大学附属幼稚園	ヒヤシンスの花の咲く早さが違うのはなぜ？	5歳	2月	○			
国9	茨城大学教育学部附属幼稚園	トンボやメダカの住む池になるといいね	5歳	5月	○			
国10	宇都宮大学教育学部附属幼稚園	「また来るといいね」	5歳	6月				○
国15	お茶の水女子大学附属幼稚園	繰り返し出かけた場所での自然の変化を感じて楽しむYの姿を中心にして	3歳	4月		○		
国16	山梨大学教育学部附属幼稚園	「仲間はずれ」のチューリップをなくしたい	5歳	4月			○	○
国23	静岡大学教育学部附属幼稚園	キノコがいっぱい見つかったよ	5歳	9月	○			
国44	佐賀大学教育学部附属幼稚園	サラ粉でお料理	4歳	10月			○	
国49	鹿児島大学教育学部附属幼稚園	たまごの正体は何かな？	3歳	6月	○			
公8	明石市立松が丘幼稚園	松ぼっくりの種を集めて遊ぼう	4, 5歳	10月	○		○	
公10	明石市立林幼稚園	Aさんの田んぼに行こう	5歳	6月	○			

「自然との関わり・生命尊重」の「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」は次のとおりである。

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、身近な事象への関心が高まりつつ、好奇心や探究心を持って思い巡らし言葉などで表しながら、自然への愛情や畏敬の念を持つようになる。
身近な動植物を命あるものとして心を動かし、親しみをもち接し、いたわり大切にすることをもち持つようになる。

「自然との関わり・生命尊重」においては、さらに4つの具体的な姿が示されている。以下、具体的な姿に本研究の事例より抽出した効果的な指導方法を学年毎に記す。

① 自然に触れて感動する体験を通して、自然の大きさや不思議さなどを感じ、好奇心や探究心を持って、思い巡らし言葉などで表しながら、科学的な視点や、自然への愛情や畏敬の念などを持つようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|---|
| 3歳児 | <ul style="list-style-type: none"> よく見ようと思えるように、タイミングをとらえて見せたいものを見えやすい場所に置いたり、じっくり見る時間を一人一人に持ったり、どこを見たらいいのかわかるように具体的に指差したり大きさや色について伝えたりする。 自分の伝えたい思いを受けとめてもらっていると感じられるように、特徴をとらえた表現を受け止めたり、同じ言葉を使って他児にも状況を話したりする。 不安を取り除き、安心して生き物に触れてみようと思えるように、痛くないことや持つコツを伝えたり、して見せたり、友達が持つ様子を一緒に見たり、実際に持った友達の怖くなかった気持ちを聞かせたりする。 |
| 4歳児 | <ul style="list-style-type: none"> 泥から足が抜けない感覚を感じられるように、誘ったり、様子を見ている子供には、友達の様子を見せたり、友達の感想を聞かせたり、泥から足を抜くことを笑って応援したりする。 試してみようと思えるように、教師が試してみせたり、気付いたことに注目させたり、すごいと思うことを言葉にしたり、考えたことに期待して楽しみにする姿を見せたりする。 |
| 5歳児 | <ul style="list-style-type: none"> なぜここにいるのか考えられるように、幼虫がいた木を知らせ、考えるきっかけを作る。 |

- ・子供が気付いている幼虫の色の变化やツノが出ること、ツノの色、匂いなどを言葉にして注目できるように、見付けたことを驚いたり不思議がったりしながら一緒に見る。
- ・本当にアゲハ蝶かどうか調べて確かめようと思えるように、幼虫からツノが出る、匂いがすることについて、教師が言葉にして注目させ、図鑑で調べてみるように提案し、一緒に調べる。
- ・卵から生まれクラスで飼育しているスズムシの様子をすぐに見られるように、また、友達と一緒に囲んで気付いたことを伝え合いながら見られるように飼育ケースを保育室の真ん中に置く。
- ・スズムシのために暗くしてあげたい、もっと居心地良くしてあげたいと考えていることが良いことだと思えるように、考えていることに驚いたり共感したりする。
- ・スズムシの生態についての気づきが広がるように、クラスみんなで話す機会をもつ。
- ・ザリガニの生態を感じながら考えたり試したりしてザリガニ釣りを楽しめるように、繰り返し経験できるような場や時間を確保したり、餌に注目させて数種類用意したりする。
- ・風の強さを感じられるように、自分達が作った秘密基地の屋根のビニール袋を強い風があおり、バタバタと音が鳴っていることや、屋根を押し上げている様子に驚いて着目させる。
- ・ヒヤシンスの育ち方に興味をもって見ようとするように、どの場所に置くかを子供と一緒に考えたり、どれが早く咲くのか、違いはあるのかを予想したり、花の咲き具合が違う理由を尋ねたりクラスみんなで気付いていることを話す機会をもったりして考えるきっかけをつくったり、考えるポイントを伝えたり、他の考えがないか尋ねたりする。

学年	研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	・
4歳児	・自然への興味関心が高まり、くり返し遊べるように、自分たちが見つけた物を使って遊ぶ様子を見せる。
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・自然への興味関心が高まり、くり返し遊べるように、自分たちが見つけた物を使って遊ぶ様子を見せる。 ・いろいろな現象をそのまま見て受け止めるだけでなく、もう一度見直したり、立ち止まって考えたりするように、いろいろな現象や気づきのとらえを共有する場を作り、全体に返しながら取り巻く自然を子供達の生活に取り込み、自分たちのこととして考えていけるようにつないで支える。 ・知っていることを言ったり、エサをあげてみたりするように、周りの子供達に、餌がないと困っていることを投げかけて考えるきっかけを作り、幼虫がいた木を知らせる。 ・稲が育つ適切な環境について、思いを巡らせるように、泥の温かさに気付いた姿を認め、どうして温かいのか考えるきっかけを作る。 ・稲が生長する環境について知れるように、地域の方から話を聞いたり、周りの子供達に投げかけたりする。

② 同じものでも季節により変化するものがあることが分かり、変化に応じて遊びや生活を変えるようになる。

学年	神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	・
4歳児	・
5歳児	・

学年	研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	・安心して繰り返し遊ぶ場所で、雨で草が濡れたりそれが乾いたりしたことや、季節が移って草が伸びたことなどの変化を、からだ全体で感じるように、触れたり、拾ったり、味わったり、自ら自然に関わろうとする姿を支える。
4歳児	・
5歳児	・

③ 自然現象を遊びに取り入れたり、自然の不思議さをいろいろな方法で確かめたりして、身近な事象への関心が高まるようになる。

学年	神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	・
4歳児	・
5歳児	・

学年	研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法
3歳児	・
4歳児	・自然への興味関心が高まり、くり返し遊べるように、自分たちが見つけた物を使って遊ぶ様子を見せる。
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・自然への興味関心が高まり、くり返し遊べるように、自分たちが見つけた物を使って遊ぶ様子を見せる。 ・安心して思いを追求するように、子供達の気づきの姿を側で見守る。

④ 共に遊んだり、世話をしたりなどする中で、生き物への愛着を感じ、生命の営みの不思議さや生命の尊さに気付き、生命の素晴らしさに感動して、身近な動植物を命あるものとしていたわり大切にすることを覚えるようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|---|
| 3歳児 | <ul style="list-style-type: none"> よく見ようと思えるように、タイミングをとらえて見せたいものを見やすい場所に置いたり、じっくり見る時間を一人一人に持ったり、どこを見たらいいのか分かるように具体的に指差したり大きさや色について伝えたりする。 |
| 4歳児 | <ul style="list-style-type: none"> |
| 5歳児 | <ul style="list-style-type: none"> なぜここにいるのか考えられるように、幼虫がいた木を知らせ、考えるきっかけを作る。 子供が気付いている幼虫の色の变化やツノが出ること、ツノの色、匂いなどを言葉にして注目できるように、見付けたことを驚いたり不思議がったりしながら一緒に見る。 卵から生まれクラスで飼育しているスズムシの様子をすぐに見られるように、また、友達と一緒に囲んで気付いたことを伝え合いながら見られるように、飼育ケースを保育室の真ん中に置く。 スズムシのために暗くしてあげたい、もっと居心地良くしてあげたいと考えていることが良いことだと思えるように、考えていることに驚いたり共感したりする。 スズムシの生態についての気付きが広がるように、クラスみんなで話す機会をもつ。 カメの気持ちを考えられるように、カメの世話をすることで、カメの気持ちを想像していることを受け止める。 愛着をもって世話をしようと思えるように、水や餌の量など、カメに必要な量をカメの様子を見ながら自分達で判断しながら世話をすることを継続する。 キャベツの生長が楽しみになるように、生長が遅れていた原因が、青虫に食べられていたことだと確かめられたことを一緒に喜ぶ。 キャベツを守れた嬉しさを感じられるように、青虫がいなかったかどうかよく見て虫取りの世話もしてきたことで、苗を畑に植え付けができたことを一緒に喜ぶ。 |

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|--|
| 3歳児 | <ul style="list-style-type: none"> |
| 4歳児 | <ul style="list-style-type: none"> |
| 5歳児 | <ul style="list-style-type: none"> 徐々に親しみを感じ、愛着をもって見守れるように、生き物と関わり合う良い機会をとらえ、子供達に実際に見せながら大切に守っていく。 チューリップを自分たちのものとして大切にすることを育まれ、何とか他のチューリップと同じようにしてあげたい、仲間はすれをなくしたい、という思いがもてるように、保育室の身近に花壇があり、世話をし、成長の様子を見る状況を作る。 知っていることを言ったり、エサをあげてみたりするように、周りの子供達に、餌がないと困っていることを投げかけて考えるきっかけを作り、幼虫がいた木を知らせる。 |

8) 数量・図形，文字等への関心・感覚

「数量・図形，文字等への関心・感覚」に関する考察が含まれる事例の一覧は次のとおりである。

番号	園名	事例名	年齢	月	数量・図形，文字等への関心・感覚	
					①	②
7	神戸大学附属幼稚園	お医者さんになって病気を治したいな	3歳	10月	○	
8	神戸大学附属幼稚園	行くよ，ジャンプ！	3歳	10月	○	
9	神戸大学附属幼稚園	バーベキューごっこしよう	3歳	11月	○	
18	神戸大学附属幼稚園	秘密基地に看板を作ろう	4歳	10月		○
24	神戸大学附属幼稚園	友達と戦いショーをして，お客さんに観てもらいたい	5歳	6月	○	
国19	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属幼稚園	色々な国旗を描こう	4歳	9月	○	
国34	島根大学教育学部附属幼稚園	「カラホー積木」でいろいろ作れるよ	4, 5歳	1月	○	
国38	山口大学教育学部附属幼稚園	お芋レストランをしよう	5歳	10月		○
公1	川西市立川西北幼稚園	秘密基地のドアをつくろう！	5歳	10月	○	
公9	明石市立朝霧幼稚園	鬼ごっこ 10秒ルールどちらが数える？	5歳	10月	○	
公9	明石市立朝霧幼稚園	どんぐりホッケーテーブルの脚づくり	5歳	10月	○	
公20	明石市立二見北幼稚園	しっぽの数を比べよう	5歳	7月	○	
公23	三木市立三木幼稚園	合同遊び 棒引き	4, 5歳	10月	○	
公24	三木市立別所認定こども園	綱引き対決！	5歳	9月	○	

「数量・図形，文字等への関心・感覚」の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は次のとおりである。

遊びや生活の中で，数量などに親しむ体験を重ねたり，標識や文字の役割に気付いたりして，必要感からこれらを活用することを通して，数量・図形，文字等への関心・感覚が一層高まるようになる。

「数量・図形，文字等への関心・感覚」においては，さらに2つの具体的な姿が示されている。以下，具体的な姿毎に本研究の事例より抽出した効果的な指導方法を学年毎に記す。

① 遊びや生活の中で自分たちに関係の深い数量，長短，広さや速さ，図形の特徴などに親しむ体験を重ね，必要感から数えたり，比べたり，組み合わせたりすることを通して，数量・図形等への関心・感覚が高まるようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児 ・教師の身長と布団の長さを直接比べることができ，布団の長さが足りないことに気付けるように，頭を布団の端に合わせて横になる。
 ・動きながら空間感覚が豊かになるよう，置き方や組み方を工夫したり，いろいろな動き方を提案したりする。
 ・台の高さと椅子の高さが合っている感覚を感じられるように，ちょうどいいと感じるものを一緒に探したり，誘導したりする。

4歳児 ・

5歳児 ・友達と距離や使っている空間を意識して動けるように，気を付けるように言葉をかけたり，これまでの痛かったりヒヤッとしたりした経験を生かし，ぶつかったり落ちたりしないように意識している姿をほめたりする。

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児 ・

4歳児 ・数量や図形等への関心・感覚を自然と高めながら遊べるように，遊びの中に，比べる・繰り返し試す・模倣するといった経験が生まれるように，協同性がもてるような遊びと遊びをつなぐ，数人のグループで取り組む，乗り越える難易度を調整する等の環境を構成する。また，子供達の数や量，空間やかたちに思いが向いている場面をとらえ，子供自身がそれを意識できるように意味付ける言葉をかける。

5歳児 ・数量や図形等への関心・感覚を自然と高めながら遊べるように，遊びの中に，比べる・繰り返し試す・模倣するといった経験が生まれるように，協同性がもてるような遊びと遊びをつなぐ，数人のグループで取り組む，乗り越える難易度を調整する等の環境を構成する。また，子供達の数や量，空間やかたちに思い

- が向いている場面をとらえ、子供自身がそれを意識できるように意味付ける言葉をかける。
- 試行錯誤しながら遊べるように、相手の思いや考えを受け入れ合いながら遊びを進めていこうとする姿をそばで見守る。
 - 同じ10秒でも数える速さにより違うことに気付けるように、10秒を数えられたら手を挙げさせる。
 - 数えたり、比べたりすることを通して、数量への関心・感覚が高まるように、勝敗を数で確かめる必要がある状況を作る。
 - グループの友だちと一緒に協力して獲得したという喜びを分かち合ったり、みんなで数えやすくなったりするように、1本1本並べる。
 - 数字が読めない子供にも視覚的に数の多い少ないが分かりやすく、また、今までの数を全部合わせるとどうなるか、という新たな勝敗の基準への興味が広がるように、獲得した数をシールで表に貼る。
 - 人数の違いや友だちの考えに気付けるように、ホワイトボードで可視化する。

②

遊びや生活の中で標識や文字が人と人をつなぐ役割を持つことに気付き、読んだり、書いたり、使ったりすることを通して、文字等への関心・感覚が高まるようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児
- 4歳児
 - 遊びに必要なことを文字や記号を使って表すことが日常的になっている際、遊びながら文字に親しんでいるため正しい表記を習得しているわけではないことを踏まえ、子供の書いた言葉の表記が誤っている場合は、機会を見て正しい表記を知らせていく。
 - 正しい表記を習得しているわけではないことを踏まえ、子供の書いた言葉の表記が誤っている場合は、機会を見て正しい表記を知らせていく。
- 5歳児

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児
- 4歳児
- 5歳児
 - 絵や記号を使って伝えようと思えるように、字を読めない友達のことにも気付くよう促す。

9) 言葉による伝え合い

「言葉による伝え合い」に関する考察が含まれる事例の一覧は次のとおりである。

番号	園名	事例名	年齢	月	言葉による伝え合い			
					①	②	③	④
2	神戸大学附属幼稚園	お友達がいるからお母さんと離れてみようかな	3歳	5月	○			
3	神戸大学附属幼稚園	三輪車 空いてるよ!	3歳	5月	○			
16	神戸大学附属幼稚園	家賃してって言って欲しい	4歳	6月	○			
17	神戸大学附属幼稚園	ザリガニの住処をきれいにしよう	4歳	9月			○	
18	神戸大学附属幼稚園	秘密基地に看板を作ろう	4歳	10月		○		
22	神戸大学附属幼稚園	“ず”から始まるものは?	4歳	3月	○			
30	神戸大学附属幼稚園	ザリガニを釣りたい	5歳	7月	○			
33	神戸大学附属幼稚園	キャベツを青虫から守りたい	5歳	10月	○			
37	神戸大学附属幼稚園	友達が困らない鬼ごっこのルールを見付けたい	5歳	3月	○			
国13	千葉大学教育学部附属幼稚園	「負けてもいいんだよ」(リレー)	5歳	9月	○			
国26	滋賀大学教育学部附属幼稚園	お寿司屋さんに来てもらおう	4歳	10月		○		
国29	兵庫教育大学附属幼稚園	僕が助けてあげよう	5歳	4月	○			
国33	鳥取大学附属幼稚園	退職する先生に気持ちを伝える	5歳	10月	○			
国35	岡山大学教育学部附属幼稚園	忍者になろう忍者でござる・ドングリを氷に入れてみよう(ドングリ研究所)	3歳	5月				○
国36	広島大学附属幼稚園	お客さんに来てほしいな	5歳	10月		○		
国37	広島大学附属三原幼稚園	「おおかみとアヒスのこやぎ」ごっこ	3歳	6月			○	
国38	山口大学教育学部附属幼稚園	お芋レストランをしよう	5歳	10月		○		
国41	愛媛大学教育学部附属幼稚園	一緒に店を開こう	5歳	6月	○			
国44	佐賀大学教育学部附属幼稚園	サウ粉でお料理	4歳	10月		○		
公1	川西市立川西北幼稚園	秘密基地のドアをつくろう!	5歳	10月	○			
公5	神戸市立たるみ幼稚園	1番になりたい	5歳	9月	○			
公6	明石市立播陽幼稚園	勝つための作戦を考えよう	5歳	6月	○			
公9	明石市立朝霧幼稚園	鬼ごっこ 10秒ルールどちらが数える?	5歳	10月	○			
公11	明石市立花園幼稚園	楽しいおばけやしきが作りたい	5歳	11月	○			
公13	明石市立大久保南幼稚園	しっぽ取りのルールを考えよう	5歳	9月	○			
公19	明石市立錦浦幼稚園	自分で台詞が言えたよ!	5歳	10月			○	
公24	三木市立別所認定こども園	綱引き対決!	5歳	9月	○			
公25	三木市立緑が丘幼稚園	のびのび遊び(帽子とりごっこ)	5歳	9月	○			
公28	三木市立広野幼稚園	迷路屋さん お客さんをびっくりさせるための大作戦を考えよう!	4, 5歳	7月	○			

「言葉による伝え合い」の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は次のとおりである。

言葉を通して先生や友達と心を通わせ、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付けるとともに、思い巡らしたりしたことなどを言葉で表現することを通して、言葉による表現を楽しむようになる。

「言葉による伝え合い」においては、さらに4つの具体的な姿が示されている。以下、具体的な姿毎に本研究の事例より抽出した効果的な指導方法を学年毎に記す。

① 相手の話の内容を注意して聞いて分かったり、自分の思いや考えなどを伝える相手や状況に応じて分かるように話したり、話し合ったりするなどして、考えをまとめ深めるようになり、言葉を通して先生や友達と心を通わせるようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児 ・思っていることを教師に伝えようと思えるように、不安に思っていることを抱えながら登園している子供のよりどころになるように、目線を下げたり手を差し出したりして話をしたり、前日にしていた遊びに誘ったりなどして受け入れる。

・思いが相手に伝わるように、教師がしてみせたり、名前を呼ぶことや言葉を添えて言ったり近づいて言ったりすることを提案したりする。

4歳児 ・何を伝えればいいのかポイントが分かるように、分からないことを尋ねる。

5歳児 ・してほしくないことやその理由を分かるように伝えられるよう、教師が、気持ちが伝わっていないことを伝える。

- ・友達に分かるように伝えられるよう、理由を話してみることを提案する。
- ・自分の嫌な気持ちをあきらめずに伝えようと思えるように、自分の気持ちを言わないと伝わらないことを話したり、本当に伝えたい嫌なことを確かめて自覚させたりする。

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|--|
| 3歳児 | ・ |
| 4歳児 | ・ |
| 5歳児 | <ul style="list-style-type: none"> ・他の子の思いを知り、そこから自分の思いに改めて向き合えるように、クラスの共通の話題として取り上げる。 ・自分の思いを友達と同じ言い方ではなく自分の言葉で伝えようとするように、分かりやすく伝えるためにはどのような言い方をすればよいのかを話す。 ・自信を持ち、もっと他の友達にも伝えたいという思いを高められるように、自分たちの店の工夫を言葉で語る場を作り、年下の子の思いに応じて自分たちが行ったことのよさを認める。 ・自信を持って話すことができるように、思いの高まりをとらえ、学年全体で紹介する場を作る。また、客の立場としての気持ちを代弁し、二人が自分たちの工夫を話したくなるように問い掛ける。 ・共通の目的となり、友達の話に注意深く聞き、必要なことに気付けるように、一緒に遊びながら見守り、新しい考えを認める。 ・思いを自分なりの言葉で友達に伝えられるように、落ち着いて自分の気持ちを伝えられる場を設けたり、友達に伝わるような言葉で話すことができるように促したりする。 ・自分の考えを友達に伝えることで友達と心を通わせる嬉しさを味わえるように、聞いていない友達がいることに気付くよう促す。 ・クラスの力に繋がるように、子供から問題を提議したり、解決の糸口を自ら探したりできるきっかけを探れるように促したり、少人数で話し合う場を設定したりする。 ・相手の言動にも思いを寄せられるように、友達に受け止められる状況を作る。 ・友達の考えを理解し、自分の考えを自分の言葉で伝えられるように、同じ内容であっても受け止めたり、教師の言葉掛けを最小限に抑えたりする。 ・考えを深められるように、意見や思いを取り上げ、伝わりやすいようにまとめ、子供達とふりかえる。 |

② イメージや思い巡らしたりしたことなどを言葉で表現することを通して、遊びや生活の中で文字などが果たす意味や役割、必要性が分かり、必要に応じて具体的な物と対応させて、文字を読んだり、書いたりするようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|--|
| 3歳児 | ・ |
| 4歳児 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分達の思いを分かるように伝えるためにはどうすればよいか考え、看板に文字を書くなどの方法を思い付くことができるように、してほしくないことをした相手の気持ちを教師が想像して言葉にする。 |
| 5歳児 | ・ |

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- | | |
|-----|---|
| 3歳児 | ・ |
| 4歳児 | <ul style="list-style-type: none"> ・再認識することでさらに工夫して使えるように、イメージを共有しながら言葉で使い方を友達や教師に伝える状況を作る。 |
| 5歳児 | <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが意見を出し、自分たちがしたいことが具体化するよう、それぞれが意見を言える場を作る。 ・自分たちに必要なことを文字で表現しようと思えるように、具体的に文字を使うことへのヒントを与える。 ・大勢の友達に伝えるためにチケットや看板等を作って知らせようと考えられるように、大勢の友達を呼びたいと思う状況を作る。 |

③

絵本や物語などに親しみ、自分の未知の世界に出会うなどしながら興味を持って聞き、思い巡らすなどの楽しさに浸ることを通して、その言葉の持つ音の美しさや意味の面白さなどを友達と共有し、必要に応じて言葉による表現を楽しむようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児 ・

4歳児 ・面白い音のリズムを感じられるように、子供の発見や状況に柔軟に反応し、その面白さに共感する。

5歳児 ・

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児 ・物語に興味をもてるように、素話をしながら、登場人物のやりとりが分かるように演じる。

・言葉のリズムや表現の楽しさを体感できるように、なって遊ぶ面白さを感じながらやりとりする。

4歳児 ・

5歳児 ・話が分かることが出来、友達と言葉の面白さを味わいながら、自分で台詞を言えるように、繰り返しのあ
る簡単な内容で、尚且つ4～5人のグループで分けられる登場人物の数にし、いくつか絵本を準備する。

④

幼稚園生活を展開する中で、新たな環境との出会いを通して、幼児の持っている言葉が膨らんだり、未知の言葉と出会ったりする中で、新しい言葉や表現に関心が高まり、それらの獲得に楽しさを感じるようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児 ・

4歳児 ・

5歳児 ・

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児 ・自分なりに全身を使って表現することを楽しんだり、言葉の響きの面白さを感じ、様々な場面で自分なりにその言葉を使い、楽しさを感じたりするように、なりきって言葉を語尾に付けて話す。

・表現して受け止めてもらう喜びを味わえるように、なりきって受け止める。

4歳児 ・

5歳児 ・

10) 豊かな感性と表現

「豊かな感性と表現」に関する考察が含まれる事例の一覧は次のとおりである。

番号	園名	事例名	年齢	月	豊かな感性と表現		
					①	②	③
7	神戸大学附属幼稚園	お医者さんになって病気を治したいな	3歳	10月			○
9	神戸大学附属幼稚園	バーベキューごっこしよう	3歳	11月	○	○	○
10	神戸大学附属幼稚園	時計を作りたい	3歳	11月	○		○
17	神戸大学附属幼稚園	ザリガニの住処をきれいにしよう	4歳	9月		○	
18	神戸大学附属幼稚園	秘密基地に看板を作ろう	4歳	10月		○	
24	神戸大学附属幼稚園	友達と戦いショーをして、お客さんに観てもらいたい	5歳	6月		○	○
32	神戸大学附属幼稚園	海賊船の旗を作ろう	5歳	10月		○	
36	神戸大学附属幼稚園	劇の準備をしよう	5歳	2月		○	
国4	岩手大学教育学部附属幼稚園	海賊船ごっこから、海賊鬼ごっこへ	5歳	10月		○	
国15	お茶の水女子大学附属幼稚園	繰り返し出かけた場所での自然の変化を感じて楽しむ Yの姿を中心にして	3歳	4月	○		
国18	富山大学人間発達科学部附属幼稚園	美術館へ出かけよう	5歳	10月	○		○
国21	信州大学教育学部附属幼稚園	友だちと花火大会をしよう	5歳	6月		○	
国22	上越教育大学附属幼稚園	修了証書をつくろう	5歳	6月	○		
国23	静岡大学教育学部附属幼稚園	キノコがいっぱい見つかったよ	5歳	9月	○		
国24	愛知教育大学附属幼稚園	七夕会で出し物をしよう	5歳	6月	○	○	
国25	三重大学教育学部附属幼稚園	劇遊び『ももたろう』キノの動きを表現しよう～Rの姿を中心として	5歳	11月			○
国37	広島大学附属三原幼稚園	「おおかみとアひきのこやぎ」ごっこ	3歳	6月			○
公8	明石市立松が丘幼稚園	松ぼっくりの種を集めて遊ぼう	4, 5歳	10月	○		
公9	明石市立朝霧幼稚園	どんぐりホッケーテーブルの脚づくり	5歳	10月	○	○	

「豊かな感性と表現」の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は次のとおりである。

みずみずしい感性を基に、生活の中で心動かす出来事に触れ、感じたことや思い巡らしたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりして、表現する喜びを味わい、意欲が高まるようになる。

「豊かな感性と表現」においては、さらに3つの具体的な姿が示されている。以下、具体的な姿毎に本研究の事例より抽出した効果的な指導方法を学年毎に記す。

① みずみずしい感性を基に、生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、思いを膨らませ、様々な表現を楽しみ、感じたり考えたりするようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児 ・子供のしたいことが叶うように、必要としているものを用意する。
 ・葉っぱをいろいろな食材に見立てられるように、色の違いに注目させて何に見立てているのか例を上げて尋ねる。
 ・少しでも分かりやすくなるように、身振りをつけて話をする。

4歳児 ・

5歳児 ・

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

3歳児 ・心を動かされる自然との出会いから、思わず体をはすませ、感じたことを自分なりの表現で表せるように、感じたままに表現し、楽しむ姿を受け止め、一緒に味わう。

4歳児 ・

5歳児 ・実感を伴って感動し、描画への意欲が高まるように、生の迫力に触れ、本物に触れる機会を作る。
 ・これまで得た感覚を存分に使い、きれいなものをつくろうという意欲が持続するように、見守ることをお願いし、自力で取り組ませる。
 ・安心して自分の考えを出せるように、子供の考えを肯定的に受け止める。
 ・歌詞や曲調からイメージを膨らませ、動きを思い付けるように、歌詞をホワイトボードに書き、フレーズごとに区切って歌い、動きを考えるように投げかける。
 ・自分もしたいという思いがもてるように、一つの場所に集める。
 ・友達と一緒に工夫して創造的な活動ができるように、子供の気持ちをうまく汲み取り広げていく。

② 遊びや生活の中で感じたことや考えたことなどを音や動きなどで楽しんだり、思いのままにかいたり、つくったり、演じたりなどして表現するようになり、友達と一緒に工夫して創造的な活動を生み出していくようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児
- 子供のしたいことが叶うように、必要としているものを用意する。
 - 葉っぱをいろいろな食材に見立てられるように、色の違いに注目させて何に見立てているのか例を上げて尋ねる。
- 4歳児
- 素材そのものは何を使うのか、画用紙であればその大きさ、色はどのようなものがよいのかと考えていけるように、素材の例を挙げたり、大きさを話題にしたり、大きさの異なる素材を見せたり、色を尋ねたり、字が見やすい色かどうか考える視点を言葉にしたりする。一方、作る前に、子供の思考をより詳細に、具体的にしていけるか、作ってみた結果から子供が気づき、再考すべきことなのかの判断は、子供の姿から常に柔軟に行う必要がある。
- 5歳児
- お客さんを意識できるように、期待する気持ちを盛り上げたり、見てくれる人のことを考えてしていることを具体的に言葉にしてほめたりする。
 - イメージしたものに近づいてきていることを喜べるように、それぞれの考えていることやよいと感じていることを具体的に言葉にしてほめる。
 - お客さんに伝わる必要を感じてお話を考えられるように、見てくれている友達の感想を聞かせたり、教師がお客さんの立場で解りにくいと思ったところを伝えたりする。

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児
-
- 4歳児
-
- 5歳児
- 互いの動きを意識しながら一緒に踊ることを楽しめるように、区切りがいいところで一度踊ってみよう提案する。
 - 自分もしたいという思いがもてるように、一つの場所に集める。
 - 友達と一緒に工夫して創造的な活動ができるように、子供の気持ちをうまく汲み取り広げていく。

③ 自分の素朴な表現が先生や他の幼児に受け止められる経験を積み重ねながら、動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだり、友達と一緒に表現する過程を楽しんだりして、表現する喜びを味わい、表現する意欲が高まるようになる。

学年 神戸大学附属幼稚園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児
- お医者さんをイメージし、お医者さんらしく振る舞うことを楽しめるように、教師が患者さんになって話す時には、お医者さんに話すように丁寧に話をする。
 - お医者さんごっこのイメージが膨らむように、聴診器や注射器などの、病院で使うもののおもちゃをセットにして置いておく。
 - 子供のしたいことが叶うように、必要としているものを用意する。
 - 葉っぱをいろいろな食材に見立てられるように、色の違いに注目させて何に見立てているのか例を上げて尋ねる。
 - 同じ向きで見比べやすいように、隣に並んで作るよう場づくりをしたり、手元を見せながら作ったりする。
 - 自分で作れるように、一つ一つゆっくと教えたり、安心して作れるように時に手を添えて一緒にしたり手伝ったりする。
 - 出来上がりを楽しみにできるように出来上がりの形を見せる。
- 4歳児
-
- 5歳児
- お客さんを意識できるように、期待する気持ちを盛り上げたり、見てくれる人のことを考えてしていることを具体的に言葉にしてほめたりする。

学年 研究協力園の事例より抽出した効果的な指導方法

- 3歳児
- 自信をもって演じられるように、役を表現豊かに演じ、楽しそうという雰囲気味わわせ、一緒に役をしながら子供が表現を楽しんでいる姿を認める。
- 4歳児
-
- 5歳児
- 自分の思いを膨らますことを楽しみ、互いに違う表現をすることを認め合い、様々な表現を楽しめるように、追求しながら、友達とかかわり続けられるように気づきを促したり、友達と一緒にできるように声をかけたり、同じ場を共有させたりする。
 - 心地よい雰囲気の中で、伸び伸びと自己表現できるように、自分を認めてもらえたと感じる言葉をかける。
 - 互いの考える動きを出し合うことができ、互いの表現したいことを知り、思いを受け止め合えるように、どんな動きをしたいのか問いかける
 - 遊びに向かう気持ちが持て、自ら選んでする遊びの中でも参加することができるように、周りの友達の姿

に気付かせる。

- より細かい表現をしようと思えるように、よりかっこいい表現になったことに共感し言葉で伝え、友達のアドバイスを受け入れて動きを変えたことを認める。
 - 自信をもって表現できるように、手拍子したり、次の動きを言ったりする。
 - 動きの変化に気づき、仲間と動きを作ったことを振り返り頑張ったことを実感することができるように、皆で遊びをした後、やってみてどうだったか互いに意見を交わす機会を作る。
-

3 幼児期に育みたい資質・能力の発揮，伸長を支える評価

前述したとおり，中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会の「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」において，「幼児期にふさわしい評価の在り方」についても言及されている。

まず，幼稚園における評価について，「現行の幼稚園教育要領第2章『ねらい及び内容』に示された各領域のねらいを視点として，幼児の発達の実情から向上が著しいと思われるものを評価してきた」とこれまでの評価について示した上で，次期幼稚園教育要領等においては，『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』の明確化の方向性が示されることに伴い，幼児期の評価についても，その方向性を踏まえ，改善を図る必要がある。」と指摘されている。

具体的には，以下のとおりである。

- ① 幼児一人一人のよさや可能性を評価するこれまでの幼児教育における評価の考え方は維持する。
- ② 評価の視点として，幼稚園教育要領等に示す各領域のねらいのほか，5歳児については，「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた視点を新たに加える。
- ③ 他の幼児との比較や一定の基準に対する達成度についての評価によってとらえるものでないことに留意する。
- ④ 幼児の発達の状況を小学校の教員が指導上参考にできるよう，指導要録の示し方の見直しを図る。
- ⑤ 指導要録以外のものを含め，小学校と情報の共有化の工夫を図る。
- ⑥ 日々の記録や，実践を写真や動画などに残し可視化したいいわゆる「ドキュメンテーション」，ポートフォリオなどにより，幼児の評価の参考となる情報を日頃から蓄積する。
- ⑦ 幼児の発達の状況を保護者と共有することを通じて，幼稚園等と家庭が一体となって幼児と関わる取組を進めていく。

これらの中で，指摘されているとおり，①と③については，幼児期における評価を考える時の前提である。評価は，あくまで一人一人の子供のよりよい育ちを保障するために行うものであり，そのために欠かすことのできない手段の一つであると考え。評価を考える時，評価することが目的にならないように留意したい。そのために，評価はしなければならないものではなく，する必要を保育者自身が実感できるものにしていきたい。

この度，②の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の明確化の方向が示されたことを踏まえて，それら10項目46の具体的な姿をどのように評価に活用できるのかについて，さらに，④から⑦を含めて，本園において幼児期の評価として取り組んでいる中から例を挙げて示す。

また，本研究を推進するにあたって，新たにスマートデバイス（iPad及びiPod touch）を導入した。残念ながら本園にはインターネットの無線環境がないため，それらの機能を最大限活かしてきれていない。しかしながら，インターネットの無線環境がない中でも，スマートデバイスがもたらす恩恵は大きい。これらスマートデバイスを活用した評価に関する取組についても，以下，資質・能力の発揮，伸長を「とらえる」，「支える」，「発信する」際の活用方法の具体とともに示す。

1) 資質・能力の発揮、伸長を「とらえる（可視化する）」取組

前述したとおり、評価は一人一人の子供のよりよい育ちを保障するために行うものであるという考えに立つと、まず、子供の姿をとらえることが欠かせない。子供の姿をとらえるために記録が重要である。遊びや生活の中で一人一人の子供がそれぞれに様々な姿を見せているため、それら全てを記録することは不可能である。しかし必要と考える情報は可能な限りとらえていきたい。

そこで、ICT機器の活用が進められてきている。本園においても、デジタルカメラを使って写真を撮影したり、ICレコーダーを使って会話を録音したりし、保育後にそれらを活用して保育中の記憶を鮮明にしつつ記録をとる取組をすすめてきた。また、TTを組んで、デジタルビデオカメラを活用し、動画を撮影して、研修や保育に活用する取組も行ってきた。

ICレコーダーについては、電源を入れてポケットに入れておけば、保育をするにも支障を感じることはなかった。写真を撮影するには、カメラを取り出し撮影する際にどうしても手が塞がってしまい、視野も狭まってしまう。現在では、デジタルカメラのモニターが大きくなることで、周囲を見ながら撮影できるようになり、格段に使いやすくなった。写真を撮影することにのみ集中しすぎないようにするためには慣れも必要であるが、慣れてくると写真による記録は当たり前になっている。

本研究を推進するにあたって、新たに導入したスマートデバイスを使うことによって、写真、音声、映像をアプリの使い分けにより、より手軽に収集・蓄積・活用できるようになっている。詳細については、「子供自身の振り返りによる資質・能力の発揮、伸長を支えるICT機器の活用（76頁）」で後述する。

これらのデータを収集し、蓄積することは必要なことであるが、それをもって子供の発達や資質・能力の発揮、伸長の姿をとらえたとは言えない。それらを手掛かりに保育を振り返り、事実から一人一人の子供の内面を解釈し、理解していくことが必要である。事実を解釈することによる一人一人の子供の内面理解の積み重ねによって、子供の姿がとらえられるのである。

この時、本園で非常に有効であると考えているのが、本研究でも活用している実践記録フォーマットである。その理由について、次の「子供の資質・能力の発揮、伸長を可視化する実践記録フォーマットの活用」で示す。

(1) 子供の資質・能力の発揮、伸長を可視化する実践記録フォーマットの活用

前述したとおり、本園の実践記録フォーマットにおいて最も重視していることとして、子供の学びを記録する際に、事実と解釈を分けて記述している。事実とは、子供の発言や行動、表情、しぐさ、視線など、子供のありのままの姿であり、解釈とは、その事実から教師が読み取った子供の内面である。それらを分けて書くことで、できる限り教師の思い込みや先入観を排除した事実に基づく子供の内面理解を目指している。幼児理解に必要な、事例に至るまでの経緯や経験等も、その事例に必要な内容は事実の中に記載している。

記録を書く際にまず直面するのが、事実を書き、その時読み取っていた解釈を書こうとすると、それはどの事実から言えるのかと確認し、その事実が不足していると気付くことである。事実を見取っていたが書きそびれていたのか、見取れていなかったのかを確認し、原因を探ることになるが、いずれにしてもそのことは、子供の内面理解に必要な事実のポイントが明らかになり、そのポイントを意識して書いたり、見取ったりすることにつながる。

また、教師集団で事例の検討を行うことにおいても、事実と解釈が分けて記述されていることで、読み手が子供のありのままの姿から解釈を検討できる。事実「～を喜んでいる。」と解釈の言葉が書かれていると、「喜んでいる」以外の解釈がしづらくなる。事実とその時の発言や行動、表情などが書かれていると、それが喜びなのか、面白さを感じているのかなど、どんな思いの表れなのかを、子供のありのままの姿から考えることができるのである。

解釈を書く際に、これまでの経緯や状況等を踏まえ、子供のありのままの姿から、それがどの資質・能力を発揮している姿なのかを事実の一つ一つについて意識している。そうすることで、子供の姿一つ一つが、どの資質・能力を発揮している姿であるか、明確にとらえようとしている。

また、この姿は資質・能力を発揮している姿なのか、学びとして資質・能力が伸長している姿なのかを見分けようと常に意識しながら記述している。同じ姿が見られても、A児にとっては学びでも、B児にとっては学びとはとらえられないことがある。対象の子供の、これまでの経験や育ちといった幼児理解を基にしつつ、その時の状況やそれまでの経緯も考慮する。その際、それらの情報は、教師集団で検討することを踏まえて、必要に応じて事実の欄に記述し、記録者以外の読み手にも判断の材料を提供している。

子供の姿から学びを見取るため、数値化された客観的な評価が行えるわけではないが、前述したように、教師集団で事実を基に子供の発達をとらえることを、実践記録フォーマットや、実践を基に教師集団で検討しカリキュラムの見直しを行うカリキュラム・マネジメントのシステムの中に仕組んでいくことで、教師の思い込みや先入観を排除することが可能となり、一定の客観性が担保されると考える。

このように、既に獲得されている資質・能力が発揮されているのか、まさに伸長している瞬間をとらえるのかは、子供の発達の姿をとらえ、評価している営みであり、この積み重ねによって子供の発達のとらえがより実態に即したものになっていくと考えている。このことは、資質・能力の発揮・伸長を支える手立てをより子供の実態に合ったものにしていく大きな基盤の一つとなっている。